

涌谷町まち中エリア活性化

ビジョン検討資料



涌 谷 町

目次

- **涌谷町商店街の現状把握に関するアンケート調査**
 - アンケート調査の概要
 - アンケート調査の結果【単純集計編】
 - アンケート調査の結果【クロス集計編】
- **涌谷町まち中エリア活性化検討ワークショップ[°]**
 - ワークショップ（第1回）
 - ワークショップ（第2回）

アンケート調査

アンケート調査の概要

アンケート調査の概要

涌谷町駅周辺や商店街を含む地域の事業者を対象とし、街中エリアの活性化の方向性を検討するためにアンケート調査を実施した。

(1) 調査目的

涌谷町産業振興課では、涌谷駅周辺や商店街を含む街中エリアにおける賑わいを創出するため、商店街としての今後の形や、町、商店街（町内事業者）、民間などの役割を明確化するためのビジョンを策定する予定である。街中エリアにおける産業の活性化を進めるうえで参考とすることを目的とし、涌谷駅周辺の商店街を含む地域の事業者の現状を把握するためにアンケートを実施した。

(2) 調査時期

2025年7月16日（水）～8月7日（木）

(3) 調査対象

涌谷町内の涌谷駅周辺や商店街に所在する事業者：95件

※調査対象先については、涌谷町産業振興課において選定

(4) 調査方法

調査票を涌谷町産業振興課が訪問により配布し、訪問時に不在の場合は郵送により配布した。回収は郵送若しくは涌谷町産業振興課のメールを活用して実施した。

(5) 回収状況

配布数：95件（A）

回答数：52件（B） ※郵送47件、持ち込み3件、メール2件

有効回答率：54.7%（B÷A）

調査票イメージ

アンケート調査の概要

調査項目は、涌谷町の街中エリアに関してのイメージや考え方、事業者の事業環境及び概要、その他意見・感想とした。

(6) 調査票 (P1～P2)

涌谷町商店街の現状把握に関するアンケート調査

ご記入・ご提出にあたってのお願い
① 貴事業所の現状についてお答えください。
② 2025年7月1日現在の状況でお答えください。
③ ご回答が困難な設問につきましてはご回答いただかなくとも差し支えございません。
④ ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れていただき、**2025年8月7日（火）**までにご投函いただか、ファクシミリまたは電子メール（データでの提出を希望される場合）にてご回答ください。

1. 涌谷町の街中エリアについて

問1：商店街を含む涌谷町の街中エリアの強みと弱みについて、考えに最も近い番号を**それぞれ3つまで**「○」印で囲んでください。

強み

1. 店舗数が多い	2. 業種が多い
3. 地域の協力関係ができている	4. 景観がよい
5. 商圏人口が多い	6. 交通利便性がよい
7. 地域のイベントがある	8. 事業が続いている店が多い
9. 地域の人で賑わっている	10. 観光地がある
11. その他 ()	12. 特に強みは無い

弱み

1. 店舗数が少ない	2. 業種が少ない
3. 取組に一体感がない	4. 景観がよくない
5. 商圏人口が少ない	6. 交通利便性がよくない
7. 地域のイベントが少ない	8. 閉業などで空き店舗が多い
9. 地域の人の利用が少ない	10. 観光客が少ない
11. その他 ()	12. 特に弱みは無い

【裏面に続きます】

問2：商店街の活性化のために必要だと思うことはどんなことですか。あてはまる番号を**3つまで**「○」印で囲んでください。

1. 商店街組織の再編	2. 空き店舗対策
3. 商店街が一体となった取組の実施	4. 集客力のある店や業種の誘致
5. 観光客などの新規顧客拡大	6. 地域の人の利用促進
7. 商品開発	8. 広告宣伝やプロモーション
9. キャッシュレス対応等のデジタル化	10. 公共交通機関と連携した取組
11. 業種転換	12. 現在の事業形態での事業承継
13. 店舗外観や歩道など景観の整備	14. 駐車スペースの確保
15. イベントスペースなど賑わいの場づくり	16. その他 ()

問3：商店街を含む街中の活性化のために望む行政の支援はどんなことですか。あてはまる番号を**3つまで**「○」印で囲んでください。

1. 商店街を含む街中活性化のための組織構築	2. 空き店舗対策
3. 商店街が一体となった取組への支援	4. 集客力のある店や業種の誘致
5. 観光客などの新規顧客拡大のための支援	6. 地域の人の利用促進のための施策
7. 商品開発への支援	8. 広告宣伝やプロモーション支援
9. キャッシュレス対応等のデジタル化支援	10. 公共交通機関との連携に向けた調整
11. 業種転換や設備投資に対する支援	12. 事業承継に対する支援
13. イベントスペースなどの設置に対する支援	14. その他 ()

アンケート調査の概要

(6) 調査票 (P3～P4)

問4：商店街を含む街中の活性化のために、どのような空間や機能があつたらよいと思いますか。あてはまる番号を **2つまで** 「○」印で囲んでください。

1. 地域の人が生活で必要な薬が揃う	2. イベント開催も可能な交流スペースがある
3. 喫茶や飲食などが充実する	4. アートや博物館など展示を観覧できる場がある
5. 観光客が地域で購入したくなる場がある	6. 宿泊や滞在ができる場がある
7. 子どもの遊び場がある	8. 子育て世帯が集う場所や託児所がある
9. 期間限定のイベントやショップなどが開かれる	10. 空き店舗所有者と利活用希望者が繋がる仕組みがある
11. 事業承継希望者と後継希望者が繋がる仕組みがある	12. その他 ()

問5：商店街を含む街中を活性化するためのアイデアや考え方を教えてください。（自由記述）

【裏面に続きます】

2. 事業環境について

問6：事業所を主に運営されている方の居住場所について、あてはまる番号を「○」印で囲んでください。

1. 事業所と同じ	2. 滝谷町内	3. 滝谷町外
-----------	---------	---------

問7：事業の後継者はいらっしゃいますか。あてはまる番号を「○」印で囲んでください。

1. 現在、一緒に事業を営む後継者がいる	2. 一緒に事業を営んでいないが後継者はいる
3. 後継者はいない	

問8：事業継続のご予定について、あてはまる番号を「○」印で囲んでください。

1. 後継者に譲り継続する	2. 自分の代で事業をやめる
3. 近い将来に事業をやめる準備をしている	4. その他 ()

問9：問8で「2」または「3」とご回答いただいた方にお尋ねします。事業をやめた場合、店舗や事業所についてどのような利用をお考えですか。あてはまる番号を「○」印で囲んでください。

1. 空き店舗のまま	2. テナントとして貸し出す
3. 居住用として利用する	4. 売却を検討する
5. その他 ()	

問10：商店街等への活動に参加されていますか。あてはまる番号を「○」印で囲んでください。

1. 積極的に参加している	2. 予定が合えば参加している
3. 商店街の組織に加盟はしている	4. 商店街の組織に加盟していない
5. 商店街の組織は無い（解散済みを含む）	

アンケート調査の概要

(6) 調査票 (P5～P6)

問11：主な顧客の年齢層について、あてはまる番号を3つまで「○」印で囲んでください。

1. 10代以下男性	2. 10代以下女性	3. 20～40代男性
4. 20～40代女性	5. 50代以上男性	6. 50代以上女性
7. その他 ()		

問12：顧客の主な来店方法について、あてはまる番号を1つまで「○」印で囲んでください。

1. 自動車	2. 自転車	3. 徒歩
4. バス	5. 電車	6. その他 ()

問13：問12で「1」とご回答いただいた方にお尋ねします。利用者用の駐車スペースはございますか。あてはまる番号を「○」印で囲んでください。

1. 駐車スペースがある	2. 他店と共同の駐車スペースがある
3. 駐車スペースはない	

問14：近年の事業の状況（年間売上高、平均来客数、平均客単価）について、あてはまる番号をそれぞれ「○」印で囲んでください。

【年間売上高】
1. 増加 2. やや増加 3. 変化なし 4. やや減少 5. 減少

【平均来客数】
1. 増加 2. やや増加 3. 変化なし 4. やや減少 5. 減少

【平均客単価】
1. 増加 2. やや増加 3. 変化なし 4. やや減少 5. 減少

問15：季節による来店客の変動はございますか。あてはまる番号を「○」印で囲んでください。

1. 春が多い	2. 夏が多い	3. 秋が多い
4. 冬が多い	5. 季節による差異はない	

【裏面に続きます】

問16：経営上の課題は何ですか。あてはまる番号全てに「○」印で囲んでください。

1. 大型店との競合	2. 仕入単価の上昇
3. 人件費の上昇	4. 従業員の確保・育成が困難
5. 事業継承	6. 消費者ニーズの変化への対応が困難
7. 事業戦略立案や販路開拓の手法が分からず	8. 設備投資や販路開拓のための資金不足
9. インターネットサービスなどのサービスの重複	10. 経営に関する相談先がない
11. その他 ()	12. 特に課題はない

問17：貴事業所が実施されている事業活性化策はございますか。あてはまる番号全てに「○」印で囲んでください。

1. サービス券・スタンプ・ポイントカード	2. 広告（新聞・雑誌、SNS、マップ等）
3. 宅配サービス	4. 特売デー・バーゲンセール
5. 共通商品券	6. 訪問・電話営業
7. 顧客とのコミュニケーション強化（SNS等）	8. 定期的な催し物の開催
9. その他 ()	10. 特に取り組んでいない

3. 貴事業所の概要について

事業所名		事業所所在地	
営業年数 (いざれかに○)	1. 5年未満 3. 11年～20年 5. 50年以上	2. 5～10年 4. 21～50年	事業形態 (いざれかに○) 1. 個人 3. 株式会社 4. その他
業種 (いざれかに○)	1. 物販関係 3. サービス関係	2. 飲食関係 4. その他	加盟組織
回答者 役職・氏名		電話番号	
メールアドレス			

アンケートは以上です。
次ページのワークショップに関するご質問にもご回答をお願いいたします。

アンケート調査の概要

(6) 調査票 (P7)

ワークショップに関するご質問、全体を通じたご意見・ご感想

町では今後、商店街を含む街中の活性化について考えるため、ワークショップの開催を予定しております。ご関心はありますか。

1. 関心がある

2. 結果を教えてほしい

その他、ご意見やご感想などがありましたらご自由にご記入ください。

お忙しいところご協力いただきましてありがとうございました。

8月7日（木）までに同封の返信用封筒に入れていただき、
ご投函をお願いいたします。

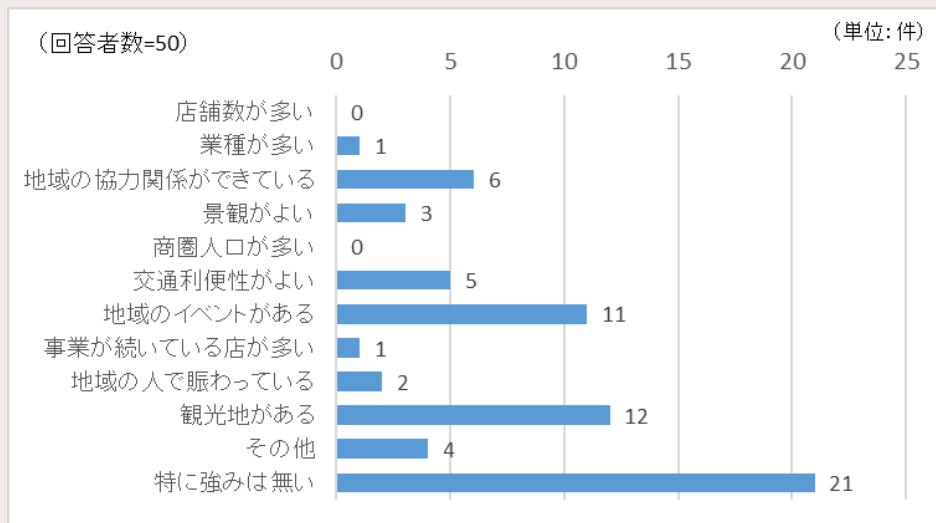
アンケート調査の結果 【単純集計編】

アンケート調査の結果【単純集計編】

街中エリアの「強み」は「特に無い」が21件となっており、回答数の4割を超える。次いで「観光地がある」（12件）、「地域のイベントがある」（11件）の順となっている。

- 問1：商店街を含む渋谷町の街中エリアの強みと弱みについて、考えに最も近い番号をそれぞれ3つまで「○」印で囲んでください。

（1）強み



No.	カテゴリー名	n	%
1	店舗数が多い	0	0.0
2	業種が多い	1	2.0
3	地域の協力関係がされている	6	12.0
4	景観がよい	3	6.0
5	商圏人口が多い	0	0.0
6	交通利便性がよい	5	10.0
7	地域のイベントがある	11	22.0
8	事業が続いている店が多い	1	2.0
9	地域の人で賑わっている	2	4.0
10	観光地がある	12	24.0
11	その他	4	8.0
12	特に強みは無い	21	42.0
	回答者数	50	
累計 (n)			66

（注）選択肢No.1～11（「強み」に該当する選択肢）のいずれかとNo.12（「特に強みは無い」）を同時に選択した回答（回答者数=6）については、No.1～11の回答のみ集計し、No.12は集計から除外した。

「その他」の具体的な回答内容（自由回答）

- 駅がある（ランドマークとして）（1）
- 気候が温暖、潜在的観光資源が豊富（1）
- 周辺の市町に比べて病院と大型店が充実しており、通院や大型店で買い物で渋谷町にお越しになる方をよく見受けられる。（1）
- 観光地はないが優れた観光資源を有する町だと思う。（1）

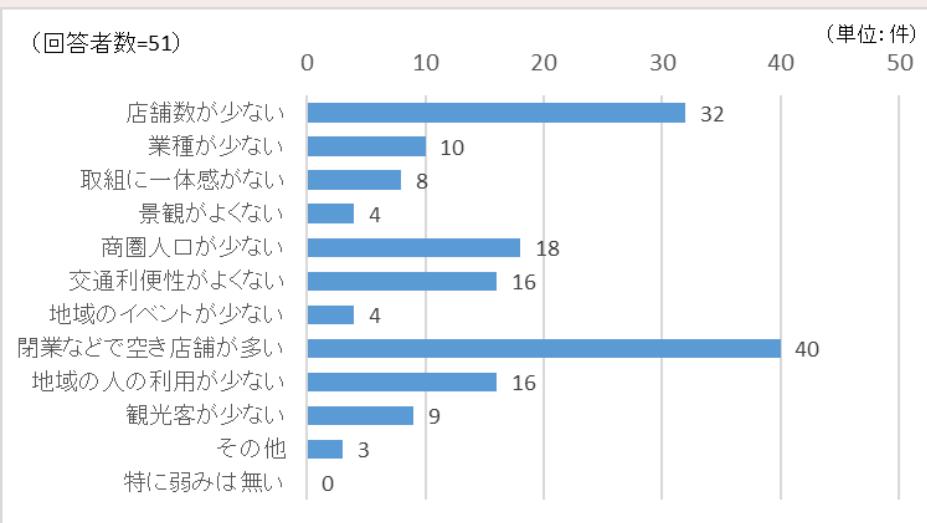
※（）内の数値は回答数

アンケート調査の結果【単純集計編】

街中エリアの「弱み」は「閉業などで空き店舗が多い」が40件で回答者の8割弱。次いで「店舗数が少ない」の回答が32件で回答者の6割強となっている。

- 問1：商店街を含む渋谷町の街中エリアの強みと弱みについて、考えに最も近い番号をそれぞれ3つまで「○」印で囲んでください。

(2) 弱み



No.	カテゴリー名	n	%
1	店舗数が少ない	32	62.7
2	業種が少ない	10	19.6
3	取組に一体感がない	8	15.7
4	景観がよくない	4	7.8
5	商圈人口が少ない	18	35.3
6	交通利便性がよくない	16	31.4
7	地域のイベントが少ない	4	7.8
8	閉業などで空き店舗が多い	40	78.4
9	地域の人の利用が少ない	16	31.4
10	観光客が少ない	9	17.6
11	その他	3	5.9
12	特に弱みは無い	0	0.0
回答者数		51	
累計 (n)		160	

(注) 3つを超える選択肢を選択した回答 (回答者数=5) も除外せず、全ての回答を集計対象とした。

「その他」の具体的な回答内容（自由回答）

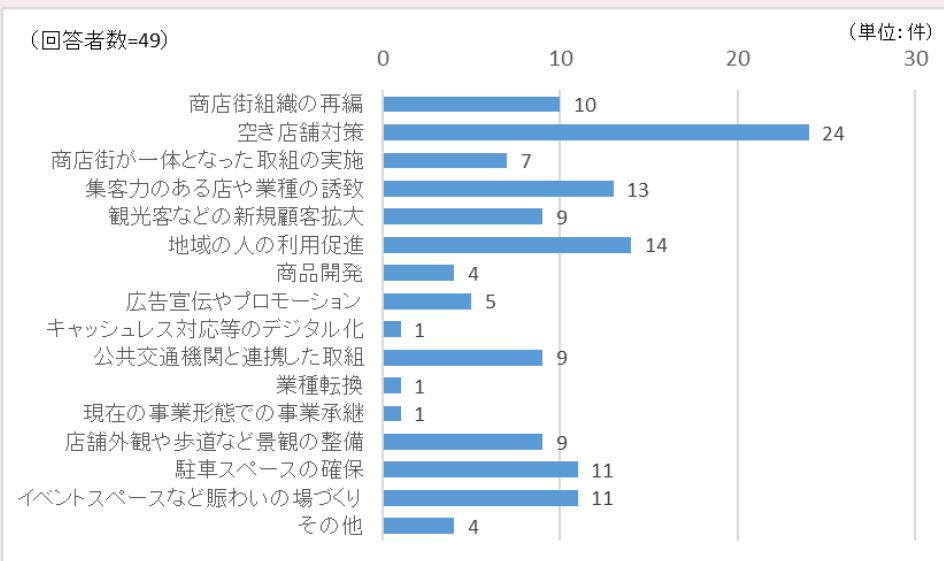
- 飲食店がない (1)
- 人口減により既に町内のお客さんだけでは商売が成り立たなくなっている。 (1)
- 交通利便性がよくない→(観光エリアとの) (1)
- 駅から中心市街地・観光地への公共交通手段がない (1)

※ () 内の数値は回答数

アンケート調査の結果【単純集計編】

**商店街の活性化のために必要だと思うことは「空き店舗対策」（24件）が最も多い。
「地域の人の利用促進」（14件）、「集客力のある店や業種の誘致」（13件）が続く。**

- 問2：商店街の活性化のために必要だと思うことはどんなことですか。あてはまる番号を3つまで「○」印で囲んでください。



No.	カテゴリー名	n	%
1	商店街組織の再編	10	20.4
2	空き店舗対策	24	49.0
3	商店街が一体となった取組の実施	7	14.3
4	集客力のある店や業種の誘致	13	26.5
5	観光客などの新規顧客拡大	9	18.4
6	地域の人の利用促進	14	28.6
7	商品開発	4	8.2
8	広告宣伝やプロモーション	5	10.2
9	キャッシュレス対応等のデジタル化	1	2.0
10	公共交通機関と連携した取組	9	18.4
11	業種転換	1	2.0
12	現在の事業形態での事業承継	1	2.0
13	店舗外観や歩道など景観の整備	9	18.4
14	駐車スペースの確保	11	22.4
15	イベントスペースなど賑わいの場づくり	11	22.4
16	その他	4	8.2
回答者数		49	
累計 (n)		133	

(注) 3つを超える選択肢を選択した回答（回答者数=1）も除外せず、全ての回答を集計対象とした。

「その他」の具体的な回答内容（自由回答）

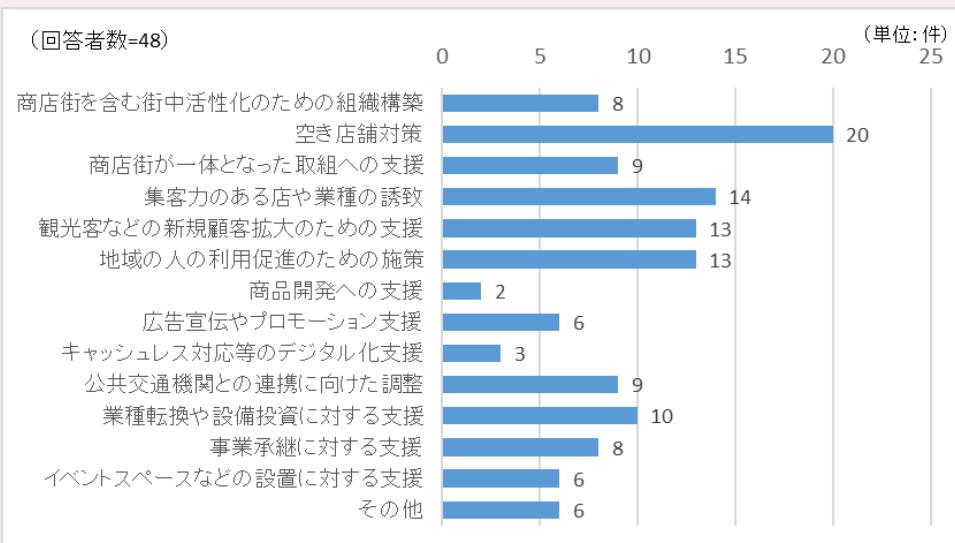
- 質問が古い。今では遅いと思います。 (1)
- 全天候形の商店街造り (1)
- 思いあたりません。 (1)
- 町の人口増加 (1)

※ () 内の数値は回答数

アンケート調査の結果【単純集計編】

商店街を含む街中の活性化のために行政に望む支援としては、前問の「街中の活性化のために必要なこと」と同じ傾向で「空き店舗対策」が最も多い。

- 問3：商店街を含む街中の活性化のために望む行政の支援はどんなことですか。あてはまる番号を3つまで「○」印で囲んでください。



No.	カテゴリー名	n	%
1	商店街を含む街中活性化のための組織構築	8	16.7
2	空き店舗対策	20	41.7
3	商店街が一体となった取組への支援	9	18.8
4	集客力のある店や業種の誘致	14	29.2
5	観光客などの新規顧客拡大のための支援	13	27.1
6	地域の人の利用促進のための施策	13	27.1
7	商品開発への支援	2	4.2
8	広告宣伝やプロモーション支援	6	12.5
9	キャッシュレス対応等のデジタル化支援	3	6.3
10	公共交通機関との連携に向けた調整	9	18.8
11	業種転換や設備投資に対する支援	10	20.8
12	事業承継に対する支援	8	16.7
13	イベントスペースなどの設置に対する支援	6	12.5
14	その他	6	12.5
回答者数		48	
累計 (n)		127	

「その他」の具体的な回答内容（自由回答）

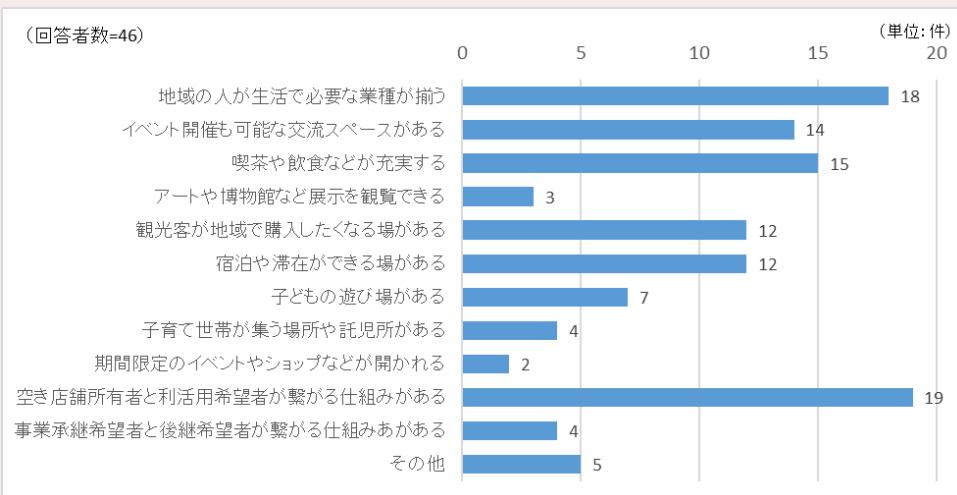
- 若手事業者への補助金など (1)
- すみません期待しておりません。 (1)
- 商売に縁のなかった方への起業/開業支援(場所などインフラの提供、経営のアドバイスなど開業しやすい環境の提供) (1)
- 観光施設との導線リンク作りなど (1)
- 公共交通スペースなどの設置に対する支援、中心市街地周回バス (1)

※ () 内の数値は回答数

アンケート調査の結果【単純集計編】

活性化のためにあつたらよい空間や機能は、「空き店舗所有者と利活用希望者が繋がる仕組み」、「地域の人が生活で必要な業種が揃う」、「喫茶や飲食などの充実」の順に多い。

- 問4：商店街を含む街中の活性化のために、どのような空間や機能があつたらよいと思いますか。あてはまる番号を3つまで「○」印で囲んでください。



No.	カテゴリー名	n	%
1	地域の人が生活で必要な業種が揃う	18	39.1
2	イベント開催も可能な交流スペースがある	14	30.4
3	喫茶や飲食などが充実する	15	32.6
4	アートや博物館など展示を観覧できる	3	6.5
5	観光客が地域で購入したくなる場がある	12	26.1
6	宿泊や滞在ができる場がある	12	26.1
7	子どもの遊び場がある	7	15.2
8	子育て世帯が集う場所や託児所がある	4	8.7
9	期間限定のイベントやショップなどが開かれる	2	4.3
10	空き店舗所有者と利活用希望者が繋がる仕組みがある	19	41.3
11	事業承継希望者と後継希望者が繋がる仕組みがある	4	8.7
12	その他	5	10.9
回答者数		46	
累計 (n)		115	

(注) 3つを超える選択肢を選択した回答（回答者数=2）も除外せず、全ての回答を集計対象とした。

「その他」の具体的な回答内容（自由回答）

- 駐車場、誰でも立ち寄れる公共駐車場 (2)
- 駅前など天平カラー 赤い柱の建物など (1)
- 涌谷駅で涌谷の農産物を販売するマルシェや飲食を楽しむイベントを行う。(まずは現状の日曜朝市を駅で行い周辺からの誘客を促進する) (1)
- 街中を歩いて楽しむシステム (1)
- 中心市街地を周回するバス (1時間1本) (1)

※ () 内の数値は回答数

アンケート調査の結果【単純集計編】

街中の活性化のためのアイデアや考え方に対する設問では、観光や移住に関する考え方、若者の意見を取り入れるという考え方、高齢者の買い物に対する考え方などが寄せられた。

- 問5：商店街を含む街中を活性化するためのアイデアや考え方を教えてください。（自由記述）※回答者の状況等、具体的な記載は除外
- ・駅周辺空き地に専門学校、庁舎のような大型テナントビルなど誘致→JR利用者増、県外移住者増→喫茶など軽飲食店の需要増
・涌谷駅・上涌谷駅・ののだけ駅と周辺が天平ロマン館のようなカラー
・バイパス沿いの公共施設もただの建物ではなく涌谷カラーの建物で統一すると観光客が喜ぶ
- ・とにかく観光客をふやさないとダメです。
潜在的観光客がこれほど豊富な町は近在にはありません
若い人々をどんどん登用してアイデアを出してもらい新しい考えにのっていかなければダメです。高齢者はあくまでサポートに徹すること
(追記) この頃は涌谷も若い人々がだいぶん頑張ってきているようで心強いです。涌谷の未来は明るくなると思います。
- ・何よりも住む人が少ないのでどんな事を考えてもどうしようもないと思う。安く借りられる公共の住宅とか子供の遊べる場所とか涌谷町には身近な広場、公園が少ない。商売を始めて30年程、売り出しとかなんのイベントもせず、組織にもはまらず、ただただお客様との応対・会話だけで何とか皆様に応援いただいているという感じです。キャッシュレスもデジタルもせず、アナログ人間が何とか商売させていただいている。
- ・他県、市町村でうまくいっているところを参考にし学ぶ
- ・小・中・高の生徒が集まって学習できる場を設ける。
- ・全天候形の商店街造りで、毎日商店街のどこかで、イベントが有る街にする。
- ・大型店がバイパス沿いにある一方で、町中が空洞化し、高齢者が買い物に困る状況になっていることに着目すべき。駅前のエリアに店が充実すれば周辺市町からも買い物に訪れる人は増えると思う。現状でも当店のためだけにJRを使って来客される方がいる。後継者不足/空き店舗の問題も直面している課題だが、当店のような小売業界はすでにECへシフトしており、単に後継者不足/空き店舗の課題解決で済むレベルに思えない。EC/SNSを使った拡販、周辺市町からの誘客を積極的に店側と行政側が積極的に行うべき。新聞折込チラシを単独で出すのが困難な商店が多いと思われる所以、複数の店舗が共同でチラシを作ることを商工会が主導すべきと思う。

【次のページへ続く】

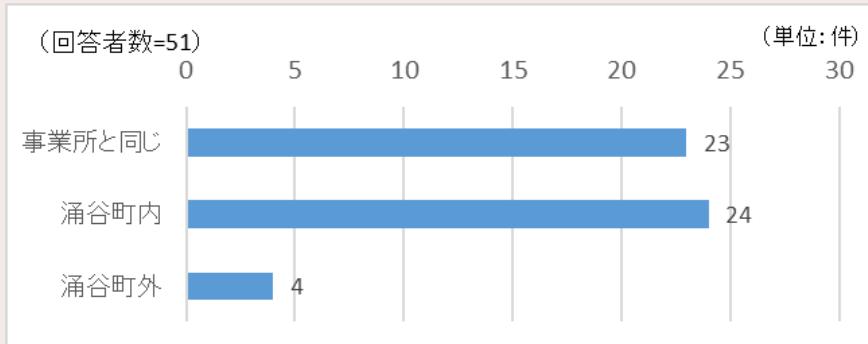
アンケート調査の結果【単純集計編】

- 問5：商店街を含む街中を活性化するためのアイデアや考えを教えてください。（自由記述）（続き）
 - 世代・業種を超えた人たちが集まって定期的に集まって、夢を語り合う場を開催して欲しい。
 - 若い世代の人口が少ないので住みやすい町づくり 子供の遊び場増
イベントをしても宿泊施設がないので増町全体を使ったスタンプラリーなど空き家 空き店舗を格安での貸し出し
 - 涌谷町でわくわくするようなイベントを町主催で定期的に開催したらどうでしょうか？たとえば
 - 商店街周辺を歩行者天国にして道路沿いで賑わいのあるイベントを定期的に開催。その際、出店者は町内事業者の参加希望者その他に、町外のイベント出店経験者の方々にも協力出店してもらうと、来客も町内だけでなく町外からも見込めるのではないか？
 - 同じような感じで公民館などでも町主催のイベントを開催してみたらどうでしょうか？
 - 【定住人口】・500を超える空き物件を利用した移住促進（移住希望者の「創意、工夫」をバックアップ）・涌谷町空き家バンクの活用（現行サービスの見直し）・利用者のDIY自宅リフォーム（部材調達からリフォーム作業、設備など町内業者がフォロー）・設計、デザイン関連志望の学生（学校）とコラボした居住提案（空き家整備+ひと工夫）【交流人口】・歴史、自然、食など潜在的資産の掘り起こしで観光開発・空き家を利用した宿泊、キャンプ施設【関係人口】・特産品のブランド化（ふるさと納税）【商店街】・ネット商店街（WAKUYAショッピング・ナビ）涌谷町民は登録無料 有料配達【住民の生活環境向上サポート】・高齢者世帯の片づけサポート。住環境の向上。・空き家や高齢者世帯の片付けから出た家具、家電、日用品を修理、リメイクしてリサイクル再販・統合により使わなくなった幼稚園施設などを利用し修理やリメイク、販売を行う。・技能、技術を有する退職後の方々に働く場所と所得を提供。
 - 東京谷中の商店街など小さいときに行ったが現在も活気がある
 - 1. 中心市街地を周回するバスを1時間に1本運行する。
2. 中心市街地に誰でも気兼ねなく立ち寄れる公共駐車場を点在させる。
3. 上記1ヶ所以上はイベント開催が可能なスペースとする。

アンケート調査の結果【単純集計編】

事業者の約9割が町内に居住し、うち4割強が事業所と同じ場所に居住している。 後継者の有無に関しては、6割弱が後継者がいないと回答している。

- 問6：事業所を主に運営されている方の居住場所について、あてはまる番号を「○」印で囲んでください。



No.	カテゴリー名	n	%
1	事業所と同じ	23	45.1
2	涌谷町内	24	47.1
3	涌谷町外	4	7.8
	回答者数	51	

(注) 選択肢No.1とNo.2を同時に選択した回答（回答者数=1）については、No.1のみを集計し、No.2は集計から除外した。

- 問7：事業の後継者はいらっしゃいますか。あてはまる番号を「○」印で囲んでください。

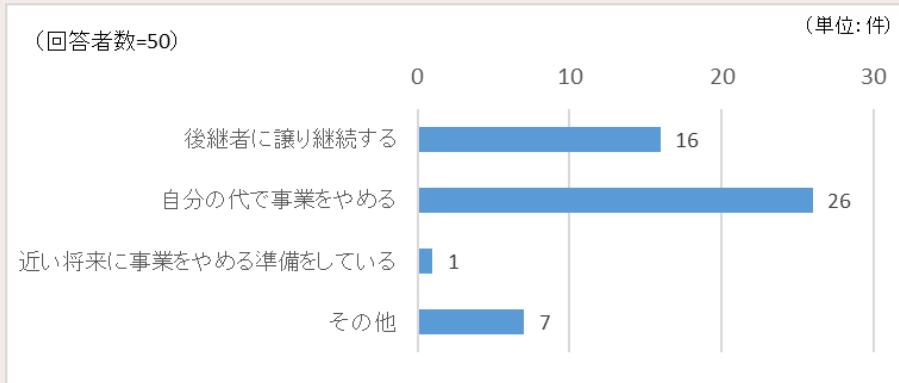


No.	カテゴリー名	n	%
1	現在、一緒に事業を営む後継者がいる	14	28.0
2	一緒に事業を営んでいないが後継者はいる	7	14.0
3	後継者はいない	29	58.0
	回答者数	50	

アンケート調査の結果【単純集計編】

事業継続の予定は「自分の代で事業をやめる」が5割を超えており、事業をやめた場合の店舗や事業所の活用方法は「居住用として利用する」が約半数。

- 問8：事業継続のご予定について、あてはまる番号を「○」印で囲んでください。



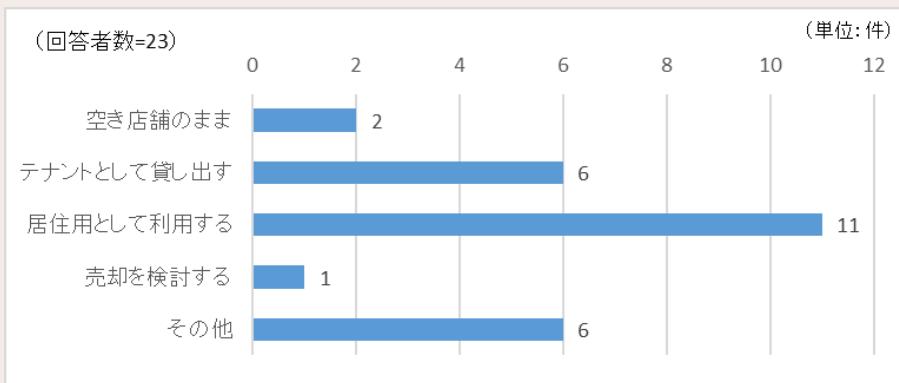
No.	カテゴリー名	n	%
1	後継者に譲り継続する	16	32.0
2	自分の代で事業をやめる	26	52.0
3	近い将来に事業をやめる準備をしている	1	2.0
4	その他	7	14.0
	回答者数	50	
			累計 (n) 50

「その他」の具体的な回答内容（自由回答）

- 未定 (2)
- 独身のままならやめる (1)
- すでにM&Aすみ (1)
- わからない (1)
- 町外へ移転希望 (1)

※ () 内の数値は回答数

- 問9：問8で「2」または「3」とご回答いただいた方にお尋ねします。事業をやめた場合、店舗や事業所についてどのような利用をお考えですか。あてはまる番号を「○」印で囲んでください。



No.	カテゴリー名	n	%
1	空き店舗のまま	2	8.7
2	テナントとして貸し出す	6	26.1
3	居住用として利用する	11	47.8
4	売却を検討する	1	4.3
5	その他	6	26.1
	全体会	23	
			累計 (n) 26

(注) 1つを超える選択肢を選択した回答 (回答者数=3) も除外せず、全ての回答を集計対象とした。

「その他」の具体的な回答内容（自由回答）

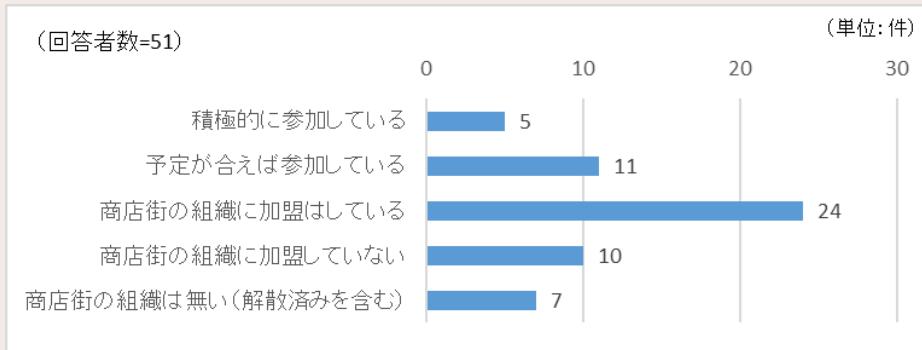
- まだ分からぬ、検討中 (2)
- 賃貸なので返すのみ、賃貸のため上記にあてはまらない (2)
- 賃貸物件 (1)
- 不明 (1)

※ () 内の数値は回答数

アンケート調査の結果【単純集計編】

「商店街の組織に加盟していない」または「組織がない」という回答が約3割となっている。主な顧客の年齢層は50代以上との回答が多い。

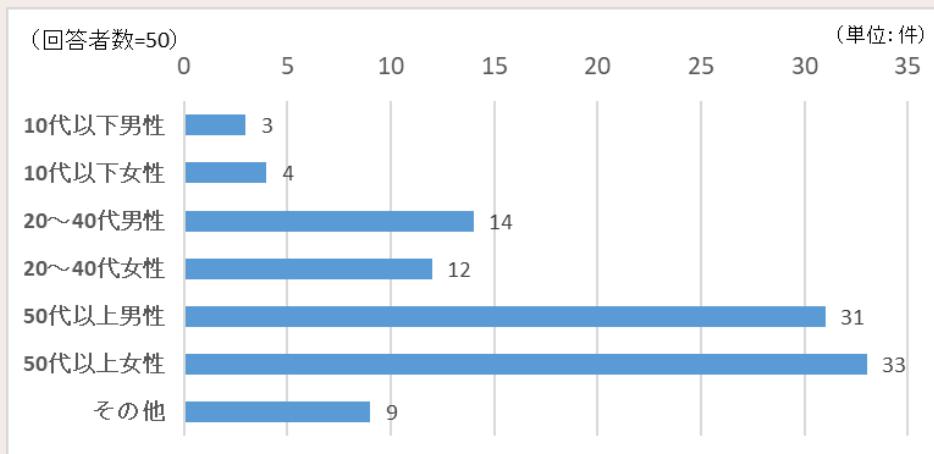
- 問10：商店街等への活動に参加されていますか。あてはまる番号を「○」印で囲んでください。



No.	カテゴリー名	n	%
1	積極的に参加している	5	9.8
2	予定が合えば参加している	11	21.6
3	商店街の組織に加盟はしている	24	47.1
4	商店街の組織に加盟していない	10	19.6
5	商店街の組織は無い(解散済みを含む)	7	13.7
	回答者数	51	
			累計 (n) 51

(注) 選択肢No.1または2とNo.3を同時に選択した回答 (回答者数=5)、選択肢No.4とNo.5を同時に選択した回答 (回答者数=1) も除外せず、全ての回答を集計対象とした。

- 問11：主な顧客の年齢層について、あてはまる番号を3つまで「○」印で囲んでください。



No.	カテゴリー名	n	%
1	10代以下男性	3	6.0
2	10代以下女性	4	8.0
3	20～40代男性	14	28.0
4	20～40代女性	12	24.0
5	50代以上男性	31	62.0
6	50代以上女性	33	66.0
7	その他	9	18.0
	回答者数	50	
			累計 (n) 106

(注) 3つを超える選択肢を選択した回答 (回答者数=4) も除外せず、全ての回答を集計対象とした。

「その他」の具体的な回答内容 (自由回答)

- 60代以上の男女 (3)
- 平日は60代以上の男女、土日は20～50代の男女 (1)
- 0歳から全ての年齢が顧客対象になります (1)
- 60～80代女性 (1)

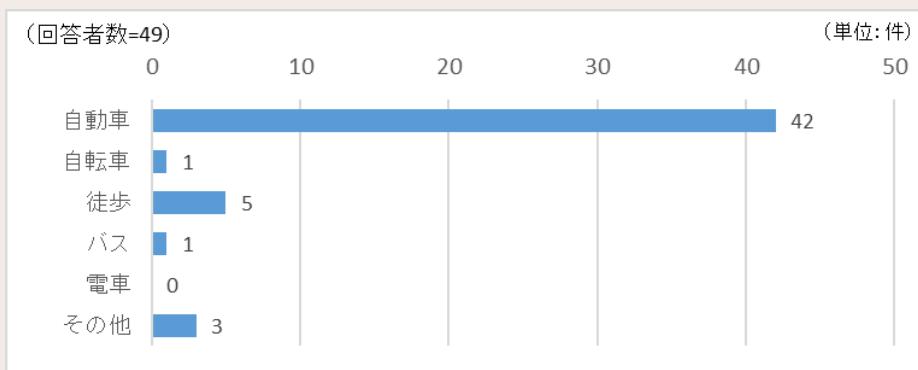
- 直売でないので不明 (1)
- 建設業 (1)
- 10～70代男女 (1)

※ () 内の数値は回答数

アンケート調査の結果【単純集計編】

**顧客の主な来店方法は「自動車」が最も多い、回答者の8割を超えている。
「自動車」と回答したうち、共同を含め約9割の回答者が利用者用駐車場を保有している。**

- 問12：顧客の主な来店方法について、あてはまる番号を1つだけ「○」印で囲んでください。



No.	カテゴリー名	n	%
1	自動車	42	85.7
2	自転車	1	2.0
3	徒歩	5	10.2
4	バス	1	2.0
5	電車	0	0.0
6	その他	3	6.1
	回答者数	49	
			累計 (n) 52

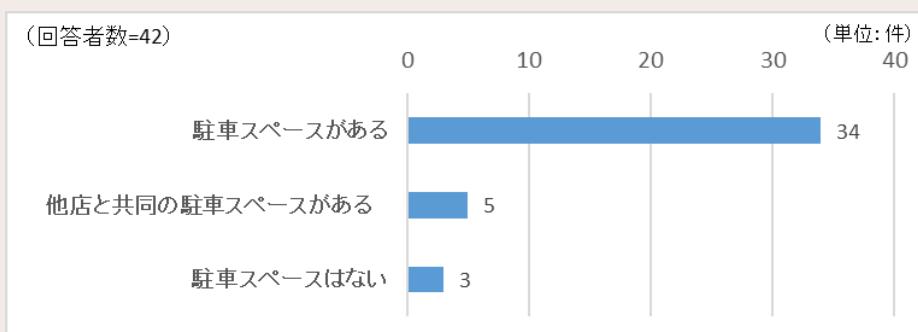
(注) 1つを超える選択肢を選択した回答 (回答者数=3) も除外せず、全ての回答を集計対象とした。

「その他」の具体的な回答内容（自由回答）

- 外販 (1)
- 直売は少ない (1)

※ () 内の数値は回答数

- 問13：問12で「1」とご回答いただいた方にお尋ねします。利用者用の駐車スペースはございますか。あてはまる番号を「○」印で囲んでください。



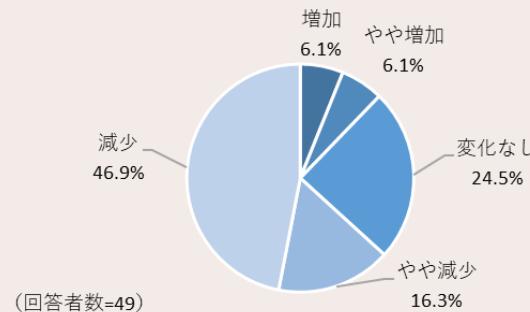
No.	カテゴリー名	n	%
1	駐車スペースがある	34	81.0
2	他店と共同の駐車スペースがある	5	11.9
3	駐車スペースはない	3	7.1
	全体	42	

アンケート調査の結果【単純集計編】

近年の事業の状況について、年間売上高、平均来客数は「減少」が4割を超え、「やや減少」を含めると約6割となる。平均客単価も「減少」と「やや減少」で5割を超える。

- 問14：近年の事業の状況（年間売上高、平均来客数、平均客単価）について、あてはまる番号をそれぞれ「○」印で囲んでください。

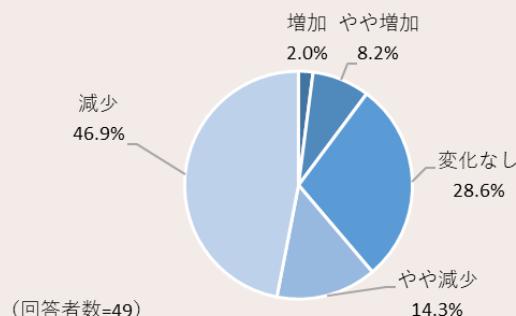
【年間売上高】



No.	カテゴリー名	n	%
1	増加	3	6.1
2	やや増加	3	6.1
3	変化なし	12	24.5
4	やや減少	8	16.3
5	減少	23	46.9
回答者数		49	

(注)「問14は店頭での営業分に限る(EC販売分は含まず)」と欄外記載のある回答があった（回答者数=1）。
「増加理由は、物価上昇によるもの」と欄外記載のある回答があった（回答者数=1）。

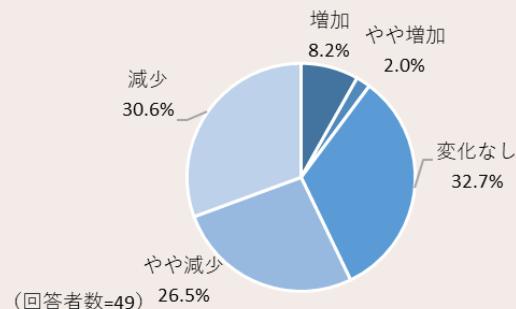
【平均来客数】



No.	カテゴリー名	n	%
1	増加	1	2.0
2	やや増加	4	8.2
3	変化なし	14	28.6
4	やや減少	7	14.3
5	減少	23	46.9
回答者数		49	

(注)「問14は店頭での営業分に限る(EC販売分は含まず)」と欄外記載のある回答があった（回答者数=1）。

【平均客単価】



No.	カテゴリー名	n	%
1	増加	4	8.2
2	やや増加	1	2.0
3	変化なし	16	32.7
4	やや減少	13	26.5
5	減少	15	30.6
回答者数		49	

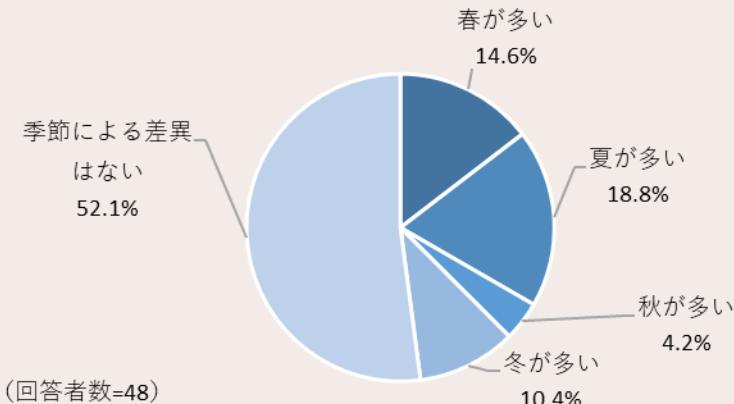
(注)「問14は店頭での営業分に限る(EC販売分は含まず)」と欄外記載のある回答があった（回答者数=1）。
「増加理由は、物価上昇によるもの」と欄外記載のある回答があった（回答者数=1）。

アンケート調査の結果【単純集計編】

来店客の変動は「季節による差異はない」が約5割となっている。

季節による変動がある「夏が多い」「春が多い」の回答と比較すると「秋」の回答が少ない。

- 問15：季節による来店客の変動はございますか。あてはまる番号を「○」印で囲んでください。

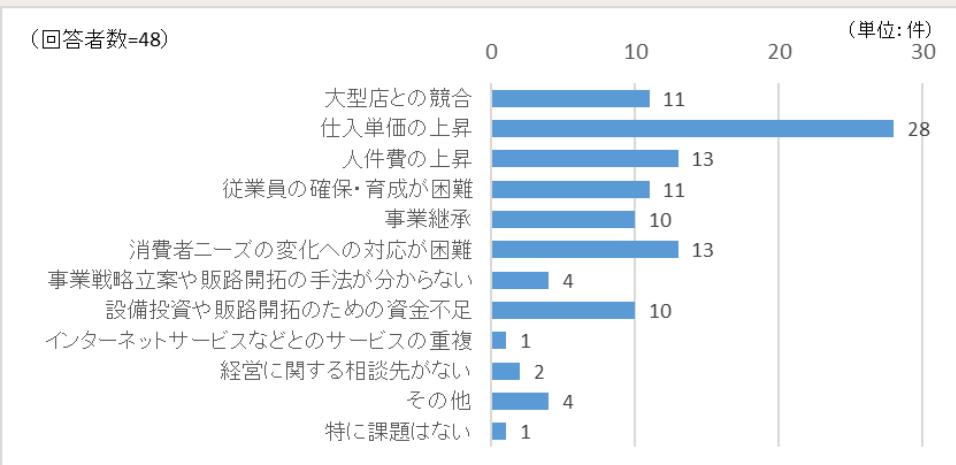


No.	カテゴリー名	n	%
1	春が多い	7	14.6
2	夏が多い	9	18.8
3	秋が多い	2	4.2
4	冬が多い	5	10.4
5	季節による差異はない	25	52.1
	回答者数	48	

アンケート調査の結果【単純集計編】

経営上の課題は「**仕入単価の上昇**」（28件）が最も多く回答者の約6割となっている。
「仕入単価の上昇」以外に感じている経営上の課題は、ばらつきがある。

- 問16：経営上の課題は何ですか。あてはまる番号全てに「○」印で囲んでください。



No.	カテゴリー名	n	%
1	大型店との競合	11	22.9
2	仕入単価の上昇	28	58.3
3	人件費の上昇	13	27.1
4	従業員の確保・育成が困難	11	22.9
5	事業継承	10	20.8
6	消費者ニーズの変化への対応が困難	13	27.1
7	事業戦略立案や販路開拓の手法が分からぬ	4	8.3
8	設備投資や販路開拓のための資金不足	10	20.8
9	インターネットサービスなどとのサービスの重複	1	2.1
10	経営に関する相談先がない	2	4.2
11	その他	4	8.3
12	特に課題はない	1	2.1
回答者数		48	
累計 (n)		108	

「その他」の具体的な回答内容（自由回答）

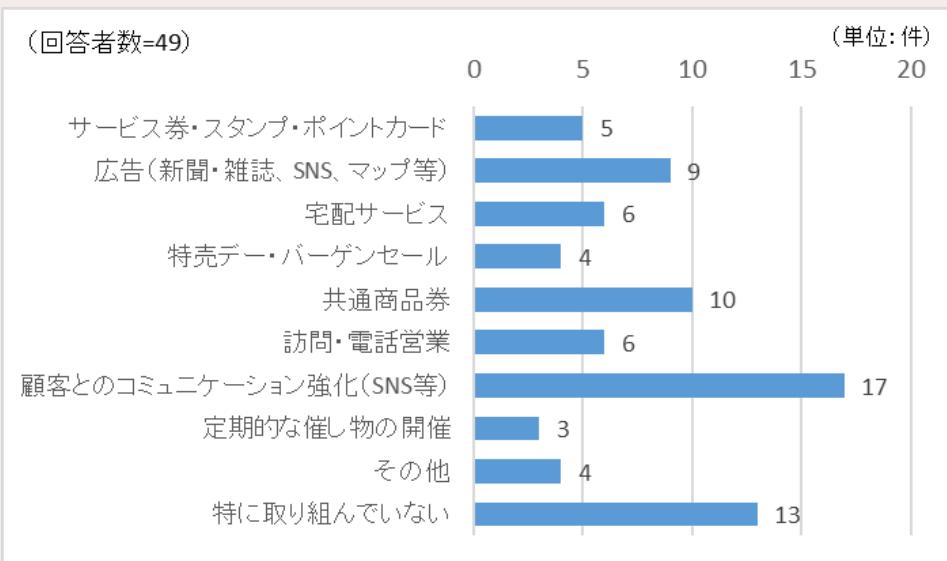
- 人手不足（1）
- 集客力、情報発信力（1）
- 人口減少による客数の減少（1）
- 対象となる顧客の減少（1）

※（ ）内の数値は回答数

アンケート調査の結果【単純集計編】

実施している事業活性化策は「顧客とのコミュニケーション（SNS等）」が回答者の3割強。一方、「特に取り組んでいない」の回答も回答者の3割弱となっている。

- 問17：貴事業所が実施されている事業活性化策はございますか。あてはまる番号全てに「○」印で囲んでください。



No.	カテゴリー名	n	%
1	サービス券・スタンプ・ポイントカード	5	10.2
2	広告(新聞・雑誌、SNS、マップ等)	9	18.4
3	宅配サービス	6	12.2
4	特売デー・バーゲンセール	4	8.2
5	共通商品券	10	20.4
6	訪問・電話営業	6	12.2
7	顧客とのコミュニケーション強化(SNS等)	17	34.7
8	定期的な催し物の開催	3	6.1
9	その他	4	8.2
10	特に取り組んでいない	13	26.5
回答者数		49	
累計 (n)		77	

「その他」の具体的な回答内容（自由回答）

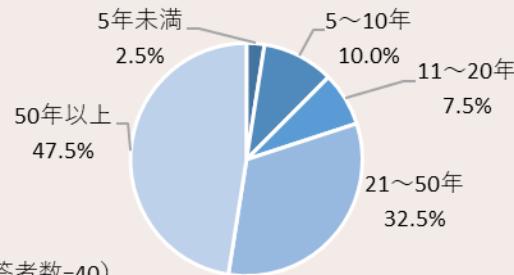
- 直売が少ないので当てはまらない (1)
- 新聞折込チラシ(年2回～3回 周辺市町含め12,000部)、石巻地域フリーペーパーへの広告掲載(年1回)、SNS(Insta, Xの活用)、SNSとEC開設による【在庫の見える化】で、ECで在庫を見て町外や県外から来店するがお客様が増えた。 (1)
- 地域貢献イベントの開催 (1)
- 法令に従い行う (1)

※ () 内の数値は回答数

アンケート調査の結果【単純集計編】

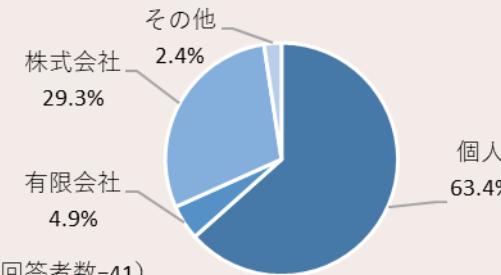
**営業年数が50年以上という回答が19件あり、回答者の約半数となっている。
事業形態は個人事業主が多く、業種は物販関係が最も多く次いでサービス関係が多い。**

- 問：事業所の概要について
- 営業年数（いずれかに○）



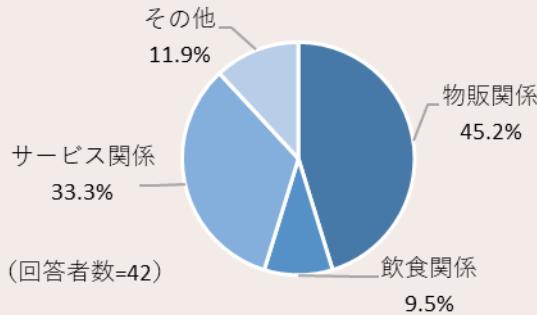
No.	カテゴリー名	n	%
1	5年未満	1	2.5
2	5～10年	4	10.0
3	11～20年	3	7.5
4	21～50年	13	32.5
5	50年以上	19	47.5
	回答者数	40	

- 事業形態（いずれかに○）



No.	カテゴリー名	n	%
1	個人	26	63.4
2	有限会社	2	4.9
3	株式会社	12	29.3
4	その他	1	2.4
	回答者数	41	

- 業種（いずれかに○）



No.	カテゴリー名	n	%
1	物販関係	19	45.2
2	飲食関係	4	9.5
3	サービス関係	14	33.3
4	その他	5	11.9
	回答者数	42	

- 加盟組織（自由記述）

- 遠田商工会、商工会 (8)
- 新町振興会 (2)
- 中央通り商店会 (1)
- 涌谷観光物産協会 (1)
- その他（事業者の業種による組織等） (7)

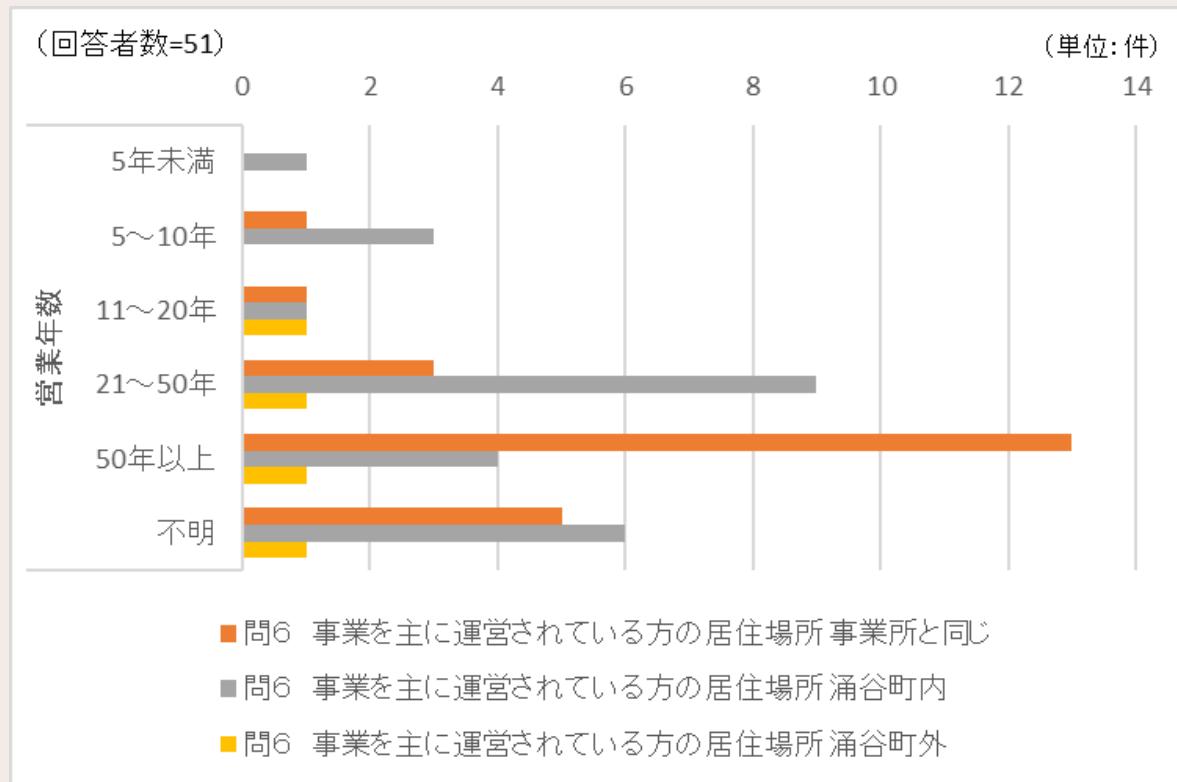
※ () 内の数値は回答数

アンケート調査の結果 【クロス集計編】

アンケート調査の結果【クロス集計編】

**営業年数が50年以上の事業者は事業所と居住場所が同じ場合が多い。
営業年数と業種を見ると、営業年数が50年以上の事業者は物販関係が多い。**

- （1）営業年数×事業を主に運営されている方の居住場所



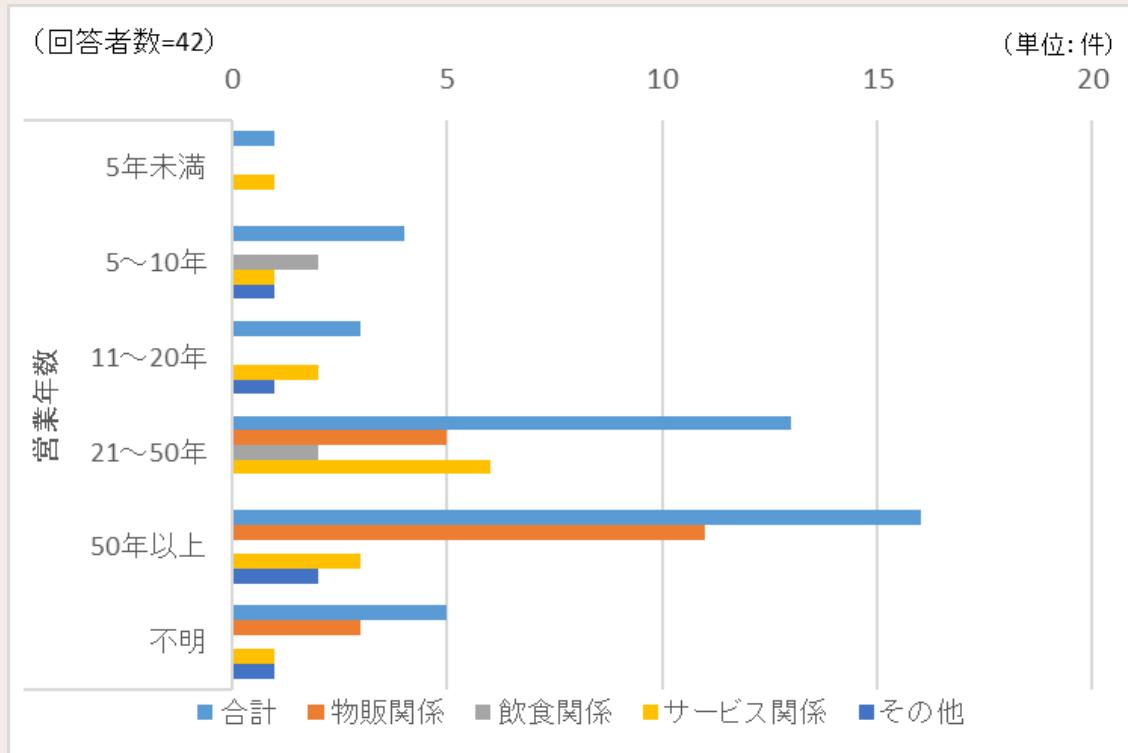
営業年数	合計	問6 事業を主に運営されている方の居住場所		
		事業所と同じ	渋谷町内	渋谷町外
全体	51	23	24	4
5年未満	1	0	1	0
5~10年	4	1	3	0
11~20年	3	1	1	1
21~50年	13	3	9	1
50年以上	18	13	4	1
不明	12	5	6	1

アンケート調査の結果【クロス集計編】

営業年数が50年以上の事業者は事業所と居住場所が同じ場合が多い。

営業年数と業種を見ると、営業年数が50年以上の事業者は物販関係が多い。

- （2）営業年数×業種

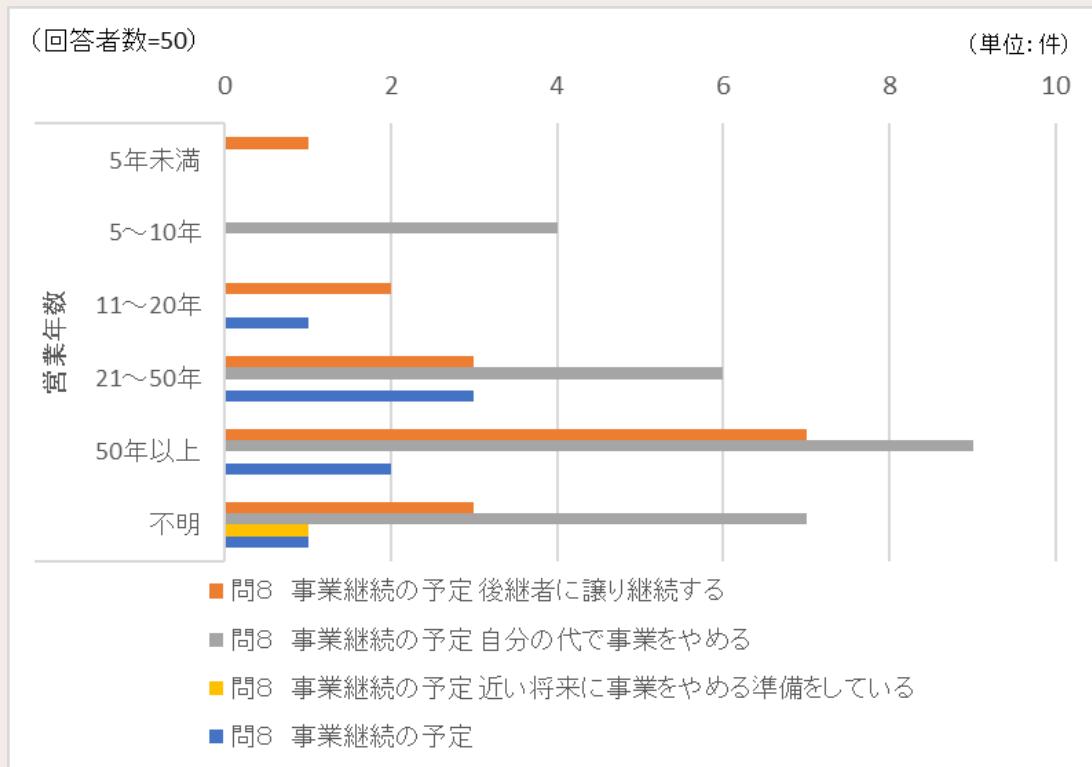


営業年数	合計	業種			
		物販関係	飲食関係	サービス関係	その他
全体	42	19	4	14	5
5年未満	1	0	0	1	0
5~10年	4	0	2	1	1
11~20年	3	0	0	2	1
21~50年	13	5	2	6	0
50年以上	16	11	0	3	2
不明	5	3	0	1	1

アンケート調査の結果【クロス集計編】

営業年数が50年以上の事業者は後継者に譲り継続するよりも自分の代で事業をやめるという回答のほうが上回っており、事業所の利用検討状況は居住用、貸出が多い。

- （3）営業年数×事業継続の予定

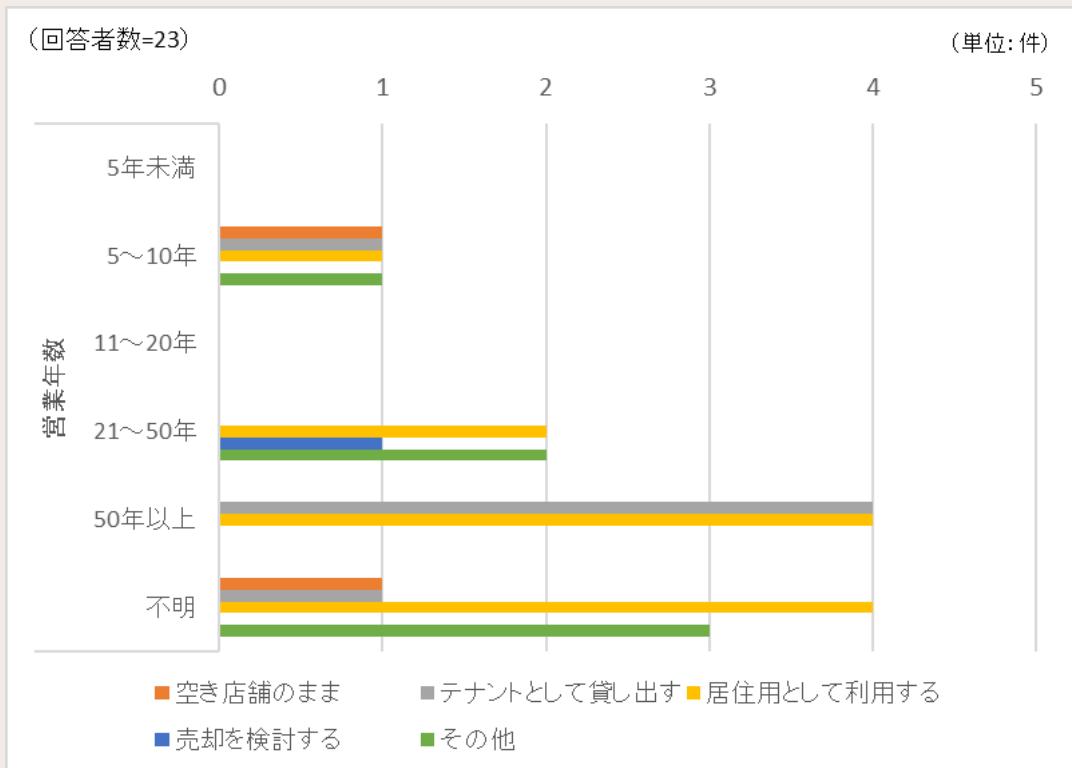


		合計	問8 事業継続の予定				
			後継者に譲り継続する	自己の代で事業をやめる	近い将来に事業をやめる準備をしている	その他	
営業年数	全体	50	16	26	1	7	
	5年未満	1	1	0	0	0	
	5~10年	4	0	4	0	0	
	11~20年	3	2	0	0	1	
	21~50年	12	3	6	0	3	
	50年以上	18	7	9	0	2	
	不明	12	3	7	1	1	

アンケート調査の結果【クロス集計編】

営業年数が50年以上の事業者は後継者に譲り継続するよりも自分の代で事業をやめるという回答のほうが上回っており、事業所の利用検討状況は居住用、貸出が多い。

- （4）営業年数×事業をやめた場合の店舗や事業所の利用検討状況



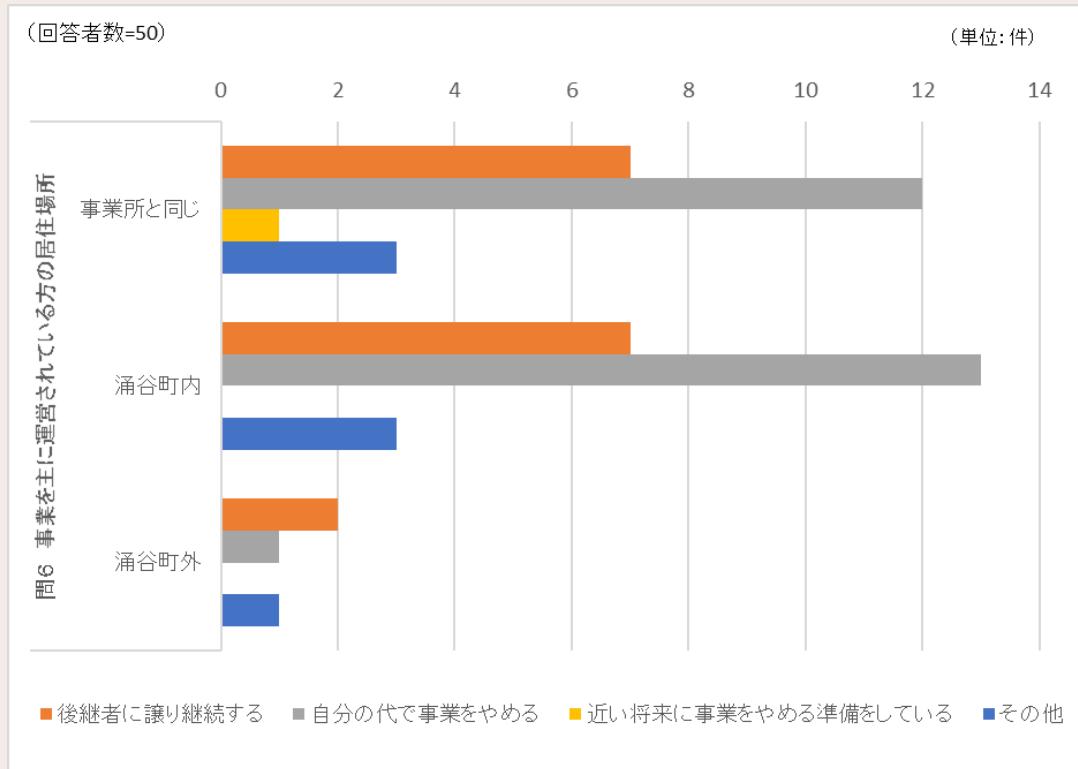
		合計	問9 問8で「2」または「3」と回答いただいた方 事業をやめた場合の店舗や事業所の利用検討状況				
			空き店舗のまま	テナントとして貸し出す	居住用として利用する	売却を検討する	その他
全体会	23	23	2	6	11	1	6
當業年数			0	0	0	0	0
5年未満		0	0	0	0	0	0
5~10年		4	1	1	1	0	1
11~20年		0	0	0	0	0	0
21~50年		5	0	0	2	1	2
50年以上		6	0	4	4	0	0
不明		8	1	1	4	0	3

(注)「合計」は営業年数への回答者数の合計。問9は複数回答可としており、表中の数値は各設問への回答数のため、回答数を足した数と「合計」は一致しない。

アンケート調査の結果【クロス集計編】

**居住場所が「事業所と同じ」「涌谷町内」の回答では事業継続の予定に差はみられない。
「事業所と同じ」の回答者は、事業をやめた場合の跡地検討が居住用と貸出に分かれる。**

- （5）事業を主に運営されている方の居住場所とのクロス集計（事業継続の予定、事業をやめた場合の店舗や事業所の利用検討状況）

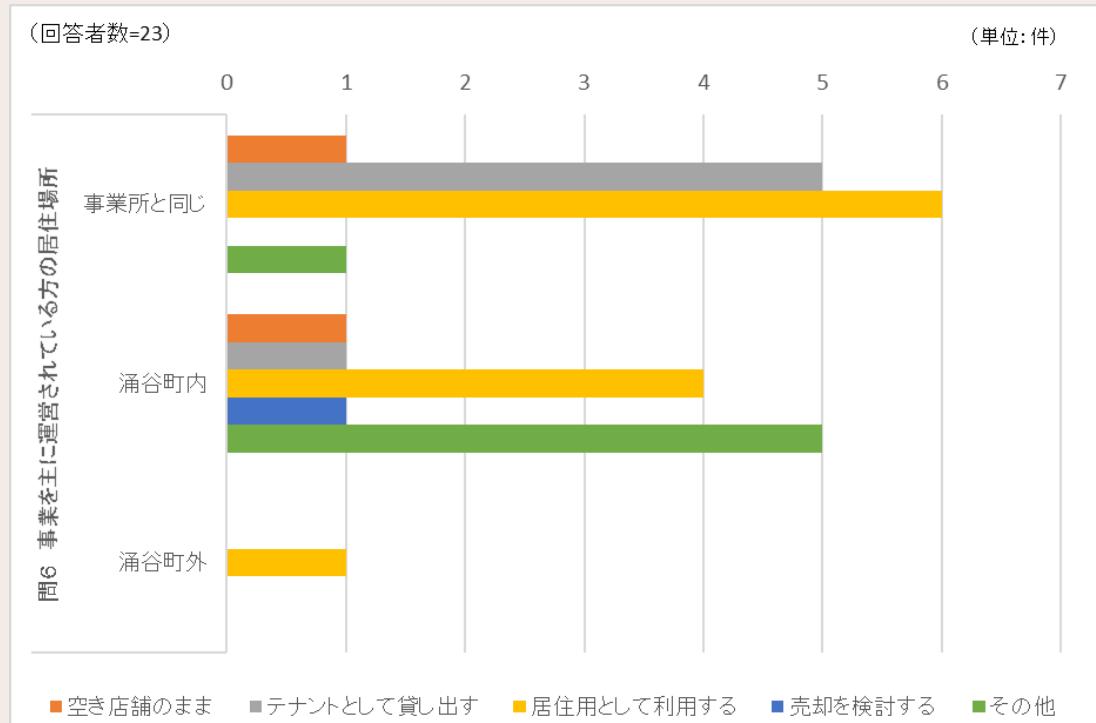


	合計	問8 事業継続の予定			
		後継者に譲り継続する	自分の代で事業をやめる	近い将来に事業をやめる準備をしている	その他
問6 事業を主に運営されている方の居住場所	50	16	26	1	7
全體	50	16	26	1	7
事業所と同じ	23	7	12	1	3
涌谷町内	23	7	13	0	3
涌谷町外	4	2	1	0	1
不明	0	0	0	0	0

アンケート調査の結果【クロス集計編】

**居住場所が「事業所と同じ」「涌谷町内」の回答では事業継続の予定に差はみられない。
「事業所と同じ」の回答者は、事業をやめた場合の跡地検討が居住用と貸出に分かれる。**

- （6）事業を主に運営されている方の居住場所とのクロス集計（事業継続の予定、事業をやめた場合の店舗や事業所の利用検討状況）



	合計	問9 問8で「2」または「3」と回答いただいた方 事業をやめた場合の店舗や事業所の利用検討状況				
		空き店舗のまま	テナントとして貸し出す	居住用として利用する	売却を検討する	その他
全体	23	2	6	11	1	6
問6 事業を主に運営されている方の居住場所						
事業所と同じ	10	1	5	6	0	1
涌谷町内	12	1	1	4	1	5
涌谷町外	1	0	0	1	0	0
不明	0	0	0	0	0	0

(注)「合計」は営業年数への回答者数の合計。問9は複数回答可としており、表中の数値は各設問への回答数のため、回答数を足した数と「合計」は一致しない。

ワークショップ[°]

ワークショップ（第1回）

ワークショップ（第1回）

涌谷町周辺を中心とした「まち中エリア」の商工活性化に向けて 町内の事業者等の皆様に参加いただき、まち中エリアの将来像と進むべき方向性を検討。

（1）開催目的

- 涌谷町商店街の現状把握に関するアンケート調査を踏まえ、涌谷駅周辺を中心としたまち中エリアの商工活性化に向けて町内の商工関係者とともに現状の課題を共有・整理し、今後の方向性について意見交換を行うことを目的として開催。
- 参加者から得られた意見や提案は、令和7年度内に涌谷町産業振興課にて策定予定の「商店街を含む街中エリア活性化ビジョン（仮称）」の検討材料として活用。

（2）ワークショップ名称

涌谷町まち中エリア活性化検討ワークショップ

（3）開催日時・場所

令和7年9月25日（木） 18:00～20:00
涌谷公民館（第一・第二会議室）

（4）参加人数

8名

（5）参加対象者

涌谷町内の商店街を中心とした事業者、商工会関係者、
地域おこし協力隊 等

（6）参加者募集方法

涌谷駅周辺を中心としたまち中エリアの事業者や商工会関係者等への募集案内配布

（7）開催次第及びタイムスケジュール

時 間	開 催 次 第
18:00	開 会
18:00～18:05	挨 捶
18:10～18:20	ワークショップ概要説明 (関係者紹介、ビジョン策定趣旨・全体スケジュール説明)
18:20～18:30	アンケート結果説明
18:30～19:50	ワークショップ ① 自己紹介（全体に向けて） ② グループワークにより、現状分析を踏まえ、目指したい将来像、進むべき方向性をまとめる。
19:50～20:00	次回ワークショップに向けて（開催日確認等）
20:00	閉 会

【参考】ワークショップ（計2回）のイメージ

【1回目】（9月25日）

- 涌谷町産業振興課より趣旨説明
- 商店街の現状把握に関するアンケート結果共有
- 他地域事例共有
- グループワーク（「実現したい涌谷町内街中エリアの未来」）

【2回目】（10月16日）

- グループワーク（「実現したい涌谷町内街中エリアの未来」、「現状との差・課題点」「課題解決のためのアイデア」「課題解決のための実施項目・役割分担」）
- 発表

ビジョン案中間報告会（11月19日）

ワークショップ（第1回）

ワークショップ資料

（1）次第および事業概要

第1回 涌谷町まち中エリア活性化検討ワークショップ

日 時：令和7年9月25日（木）
午後6時～午後8時
会 場：涌谷公民館
(第一・第二会議室)

次 第

1. 会会

2. 開催概要説明

（1）本ワークショップの開催趣旨、ビジョン策定に向けた今後のスケジュール

（2）「涌谷町商店街の現状把握に関するアンケート調査」等の分析結果

3. ワークショップ

4. 閉会

配 布 資 料

- ・涌谷町産業振興説明資料（事業概要、まち中エリアの想定範囲）
- ・涌谷町商店街現状把握アンケート等を基にした分析
- ・涌谷町商店街の現状把握に関するアンケート調査 調査結果

令和7年度 涌谷町まち中エリア活性化ビジョン（概要）

1 策定の背景

涌谷町中心部は、かつて商業や交流の拠点としてにぎわいを見せてきましたが、近年は人口減少や消費行動の変化などにより、空き店舗の増加や利用機会の減少が課題となっています。

こうした状況を踏まえ、今後のまち中エリア（別紙参照）のあり方を町民とともに考え、将来に向けた方向性を整理することが求められています。

2 策定の目的

中心市街地の現状と課題を整理し、共有する。
まち中エリアの将来像を町民・事業者・行政が共に描く。
将来的な事業や取組の基盤となる「活性化ビジョン」を示すことによって、商業の活性化を目指す。

3 現在までの取組み

- ・令和7年6月 司内商店街・商工会員へのプレヒアリング
- ・令和7年7月 司内事業者へのアンケート調査
- ・令和7年9月 ワークショップの開催①
- ・令和7年10月 ワークショップの開催②

4 ビジョンの取りまとめ

ワークショップで出された意見を整理し、町の方向性を反映した「まち中エリア活性化ビジョン」を作成

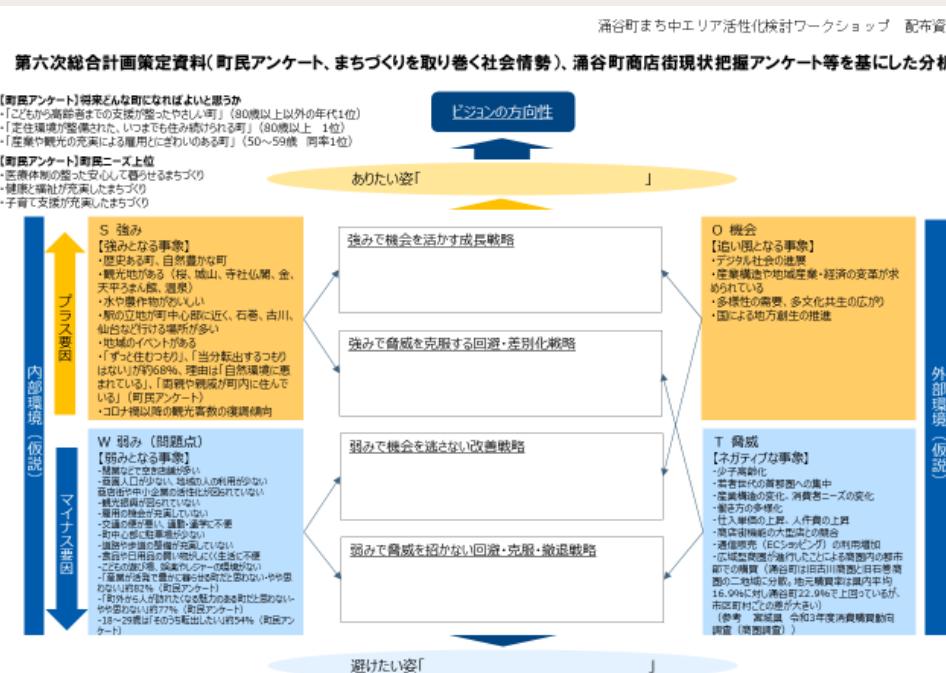
5 今後のスケジュール（予定）

- ・令和7年11月（下旬） 町民向け説明会
- ・令和8年2月 ビジョンの完成

ワークショップ（第1回）

ワークショップ資料

（3）グループワーク用資料



ワークショップ 開催内容

ワークショップのゴー

- グループごとに「実現したい涌谷町内街中エリアの未来」をまとめ、その実現のために現状（強み、弱み）と実現したい未来との差を整理する。
- 整理した強み、弱みと機会、脅威をクロスSWOT分析により掛け合わせ、実現したい未来に向けた方向性と事業者・行政の役割を考える。

ワークショップの手

- バックキャスティング方式 及び SWOT分析

・**バックキャスティング**
未来のありたい姿から現在とのギャップ・問題を洗い出し、そこから逆算して現在の行動を導き出す方法。問題解決のためにできるアイデアを出した上で具体的な行動指針を考える。

涌谷町まち中エリア活性化検討ワークショップ 配布資料

·SWOT分析

現状を把握し、効果的な戦略を策定するため、内部環境（強み、弱み）と外部環境（機会、脅威）の4つの要素を分析する手法。

・クロスSWOT分析

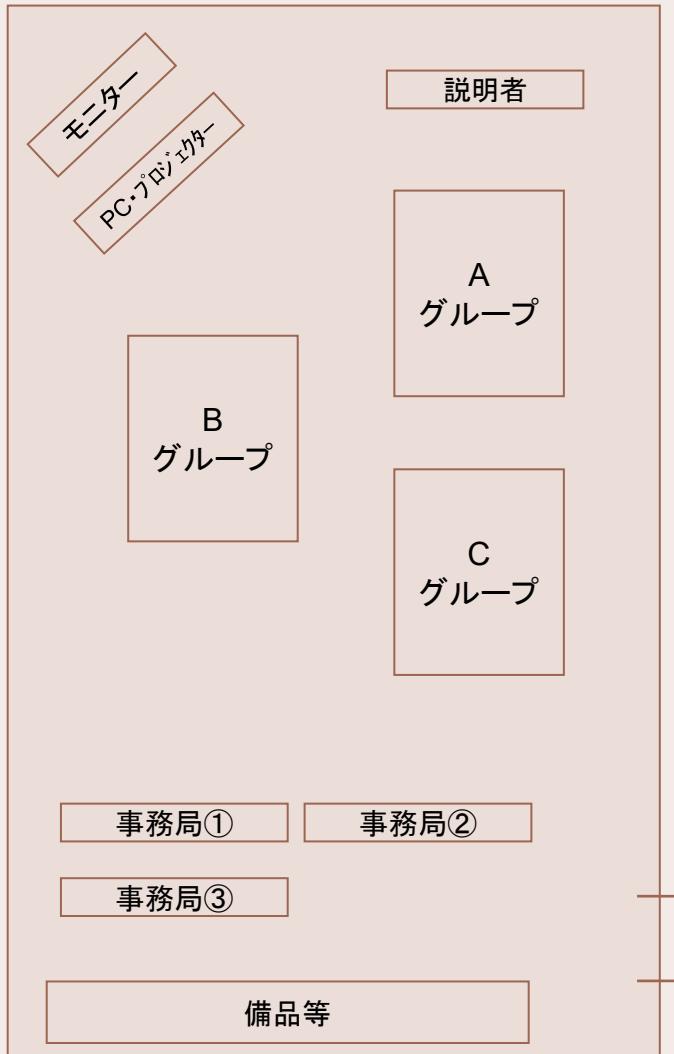
SWOT分析で抽出した内部環境（強み・弱み）と外部環境（機会・脅威）の要素を掛け合わせて、戦略の方向性を導く手法。

1. 強み × 機会 → 構築的に活かす戦略（攻めの施策）
強みを活かして、外部の機会を最大限に取り込む方法を検討。
2. 強み × 脅威 → 強みで脅威に対する戦略（守りの施策）
外部の脅威に対して、強みをどう活用してリスクを回避・軽減できるかを検討。
3. 弱み × 機会 → 弱みを克服して機会を活かす戦略（改善施策）
機会を活かすために、どの弱みを優先的に改善すべきかを検討。
4. 弱み × 脅威（W×T） → リスク回避・撤退の戦略（危機管理施策）
弱みと脅威が重なる領域では、リスクが高いため、回避・縮小・撤退などの対応を検討。

ワークショップ（第1回）

ワークショップ当日の状況

（1）会場配置図



（2）当日の状況



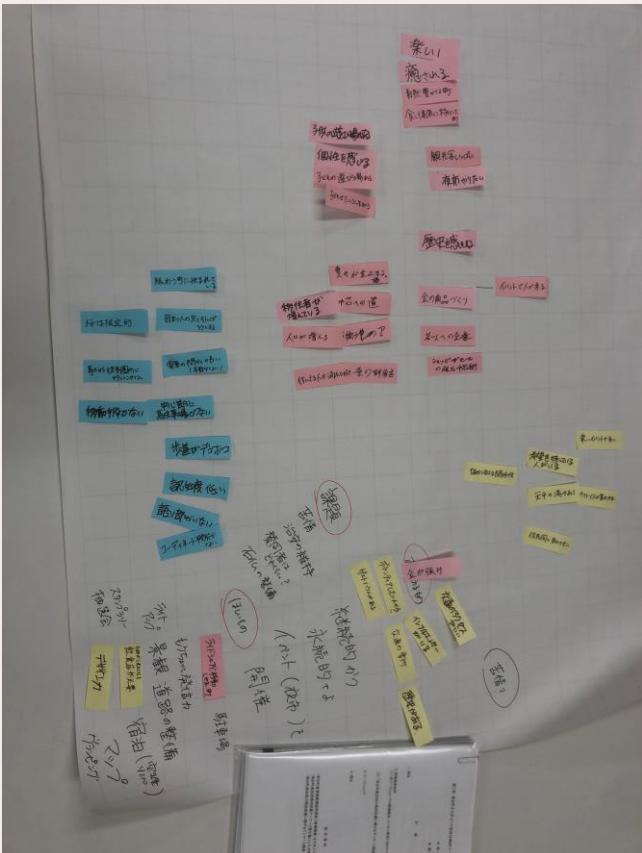
ワークショップ（第1回）

ワークショップにおける作業内容

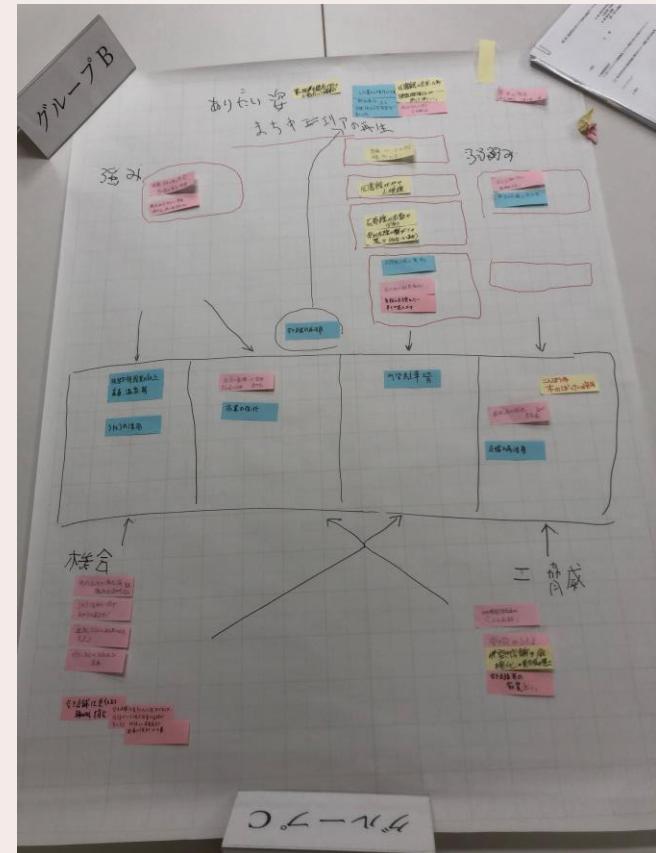
(3) 作業内容

ワークショップでは、各参加者で目指す将来像や町の強み、弱み等を付箋に書き出していただいた後、各グループで付箋を出し合いながら、目指すべきまち中エリアの将来像や取り組むべき方向性について、活発な議論をしていただいた。

【Aグループ】



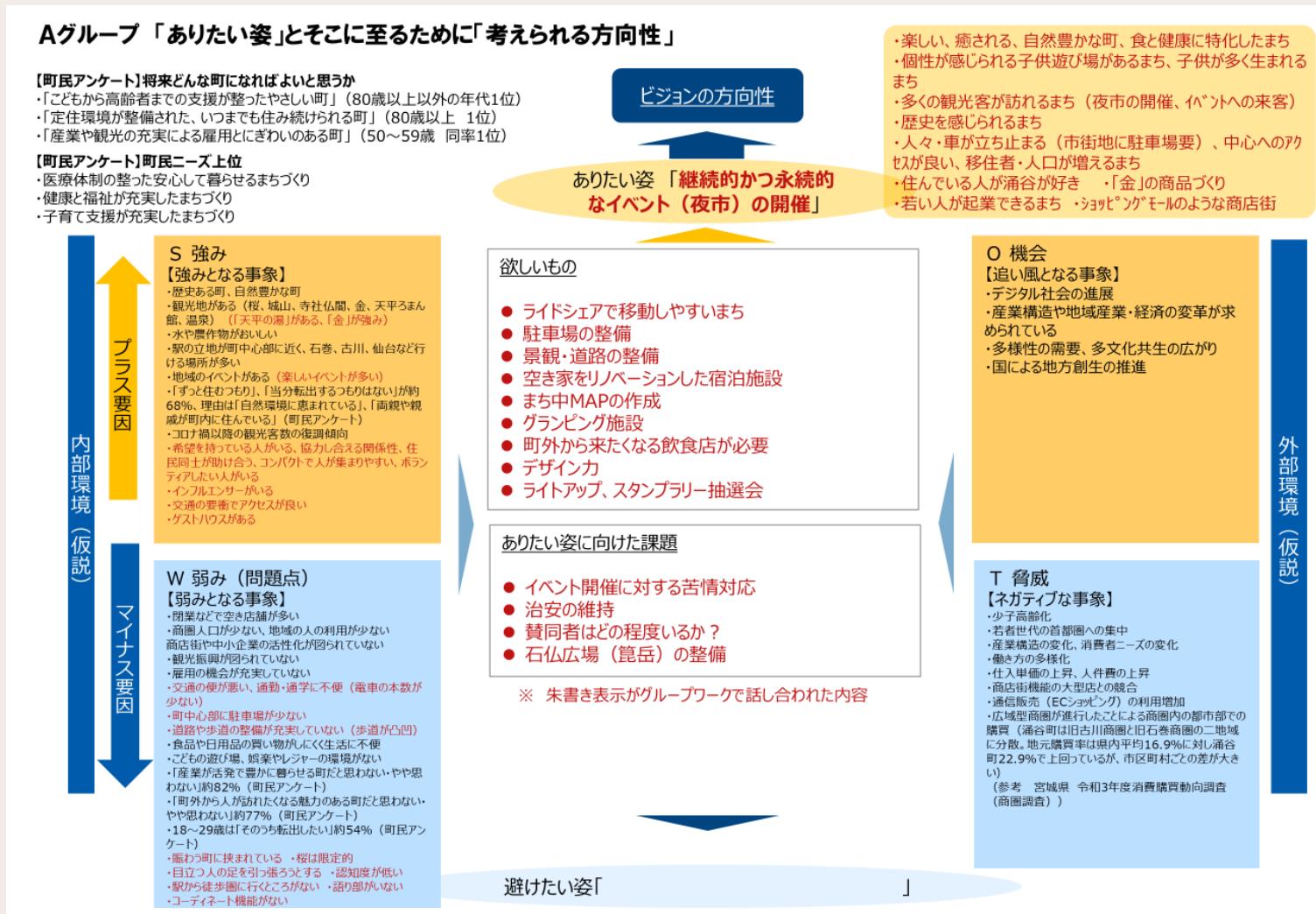
【Bグループ】



ワークショップ（第1回）

各グループのアイデア（まとめ）

【Aグループ】



ワークショップ（第1回）

各グループのアイデア（まとめ）

【Bグループ】



ワークショップ（第2回）

ワークショップ（第2回）

涌谷町周辺を中心とした「まち中エリア」の商工活性化に向けて 町内の事業者等の皆様に参加いただき、まち中エリアの将来像と進むべき方向性を検討。

（1）開催目的

- 涌谷町商店街の現状把握に関するアンケート調査を踏まえ、涌谷駅周辺を中心としたまち中エリアの商工活性化に向けて町内の商工関係者とともに現状の課題を共有・整理し、今後の方向性について意見交換を行うことを目的として開催。
- 参加者から得られた意見や提案は、令和7年度内に涌谷町産業振興課にて策定予定の「商店街を含む街中エリア活性化ビジョン（仮称）」の検討材料として活用。

（2）ワークショップ名称

涌谷町まち中エリア活性化検討ワークショップ

（3）開催日時・場所

令和7年10月16日（木） 18:00～19:30
涌谷公民館（第一・第二会議室）

（4）参加人数

9名

（5）参加対象者

涌谷町内の商店街を中心とした事業者、商工会関係者、地域おこし協力隊 等

（6）参加者募集方法

涌谷駅周辺を中心としたまち中エリアの事業者や商工会関係者等への募集案内配布

（7）開催次第及びタイムスケジュール

時 間	開 催 次 第
18:00	開 会
18:00～18:05	挨 拶
18:05～18:20	ワークショップ概要説明 (第1回ワークショップの振り返り、作業のポイント・ゴール説明)
18:20～19:15	ワークショップ ① 「ありたい姿」と現状との差、課題点の整理 ② 課題解決のためのアイデア共有 ③ 課題解決のための実施項目・役割分担の検討 「民間でできること」「行政による支援が必要なこと」の整理
19:15～19:25	グループ発表
19:25～19:30	ビジョン案策定に向けた今後の予定について
19:30	閉 会

【参考】ワークショップ（計2回）のイメージ

【1回目】（9月25日）

- 涌谷町産業振興課より趣旨説明
- 商店街の現状把握に関するアンケート結果共有
- 他地域事例共有
- グループワーク（「実現したい涌谷町内街中エリアの未来」）

【2回目】（10月16日）

- グループワーク（「実現したい涌谷町内街中エリアの未来」、「現状との差・課題点」「課題解決のためのアイデア」「課題解決のための実施項目・役割分担」）
- 発表

ワークショップ（第2回）

ワークショップ資料

（1）グループワーク用資料

Aグループ 「ありたい姿」とそこに至るために「考えられる方向性」

【町民アンケート】将来どんな町になればよいと思うか

- 「どこから高齢者までの支援が整ったやさしい町」（80歳以上以外の年代1位）
- 「定住環境が整備された、いつまでも住み続けられる町」（80歳以上 1位）
- 「産業や観光の充実による雇用とにぎわいのある町」（50～59歳 同率1位）

【町民アンケート】町民ニーズ上位

- 医療体制の整った安心して暮らせるまちづくり
- 健康と福祉が充実したまちづくり
- 子育て支援が充実したまちづくり

ビジョンの方向性

ありたい姿 「継続的かつ永続的なイベント（夜市）の開催」

- ・楽しい、癒される、自然豊かな町、食と健康に特化したまち
- ・個性が感じられる子供遊び場があるまち、子供が多く生まれるまち
- ・多くの観光客が訪れるまち（夜市の開催、イベントへの来客）
- ・歴史を感じられるまち
- ・人々・車が立ち止まる（市街地に駐車場要）、中心へのアクセスが良い、移住者・人口が増えるまち
- ・住んでいる人が涌谷が好き・「金」の商品づくり
- ・若い人が起業できるまち・ショッピングモールのような商店街



欲しいもの

- ライドシェアで移動しやすいまち
- 駐車場の整備
- 景観・道路の整備
- 空き家をリノベーションした宿泊施設
- まち中MAPの作成
- グランピング施設
- 町外から来たくなる飲食店が必要
- デザイン力
- ライトアップ、スタンプラリー抽選会

ありたい姿に向けた課題

- イベント開催に対する苦情対応
- 治安の維持
- 賛同者はどの程度いるか？
- 石仏広場（笠岳）の整備

※ 朱書き表示がグループワークで話し合われた内容

O 機会

- 【追い風となる事象】
- ・デジタル社会の進展
- ・産業構造や地域産業・経済の変革が求められている
- ・多様性の需要、多文化共生の広がり
- ・国による地方創生の推進

外部環境(仮説)

避けたい姿「」

T 脅威

- 【ネガティブな事象】
- ・少子高齢化
- ・若者世代の首都圏への集中
- ・産業構造の変化、消費者ニーズの変化
- ・働き方の多様化
- ・住人単価の上昇、人件費の上昇
- ・商店街機能の大型店との競合
- ・通販サイト（ECショッピング）の利用増加
- ・広域型商圏が進行したことによる商圏内の都市部での購買（涌谷町は旧古川商圏と旧石巻商圏の二地域に分散。地元購買率は県内平均16.9%に対し、涌谷町22.9%で上回っているが、市区町村ごとの差が大きい）

（参考 宮城県 令和3年度消費購買動向調査
(商圏調査)）

ワークショップ（第2回）

ワークショップ資料

（1）グループワーク用資料

Bグループ「ありたい姿」とそこに至るために「考えられる方向性」

【市民アンケート】将来どんな町になればよいと思うか

- ・「こどもから高齢者までの支援が整ったやさしい町」（80歳以上以外の年代1位）
- ・「定住環境が整備された、いつまでも住み続けられる町」（80歳以上 1位）
- ・「産業や観光の充実による雇用などにぎわいのある町」（50～59歳 同率1位）

【市民アンケート】町民ニーズ上位

- ・医療体制の整った安心して暮らせるまちづくり
- ・健康と福祉が充実したまちづくり
- ・子育て支援が充実したまちづくり

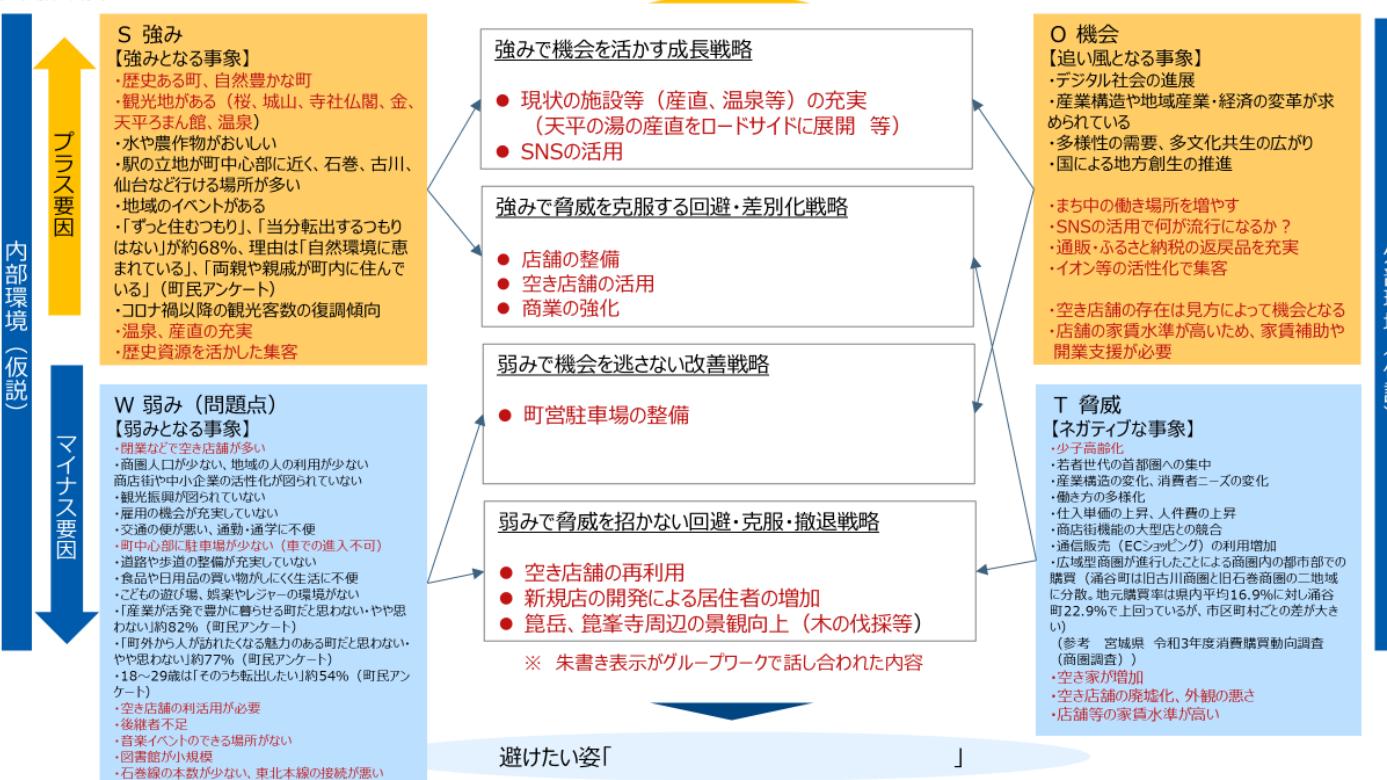
ビジョンの方向性

ありたい姿「まち中エリアの再生」

・買い物に徒歩で行けるエリア

- ・まち中エリアの活性化（人が集まる場所、飲み屋さん、子供・中高生が集まる場所、図書館の充実した町、健康麻雀店⇒居場所づくり）

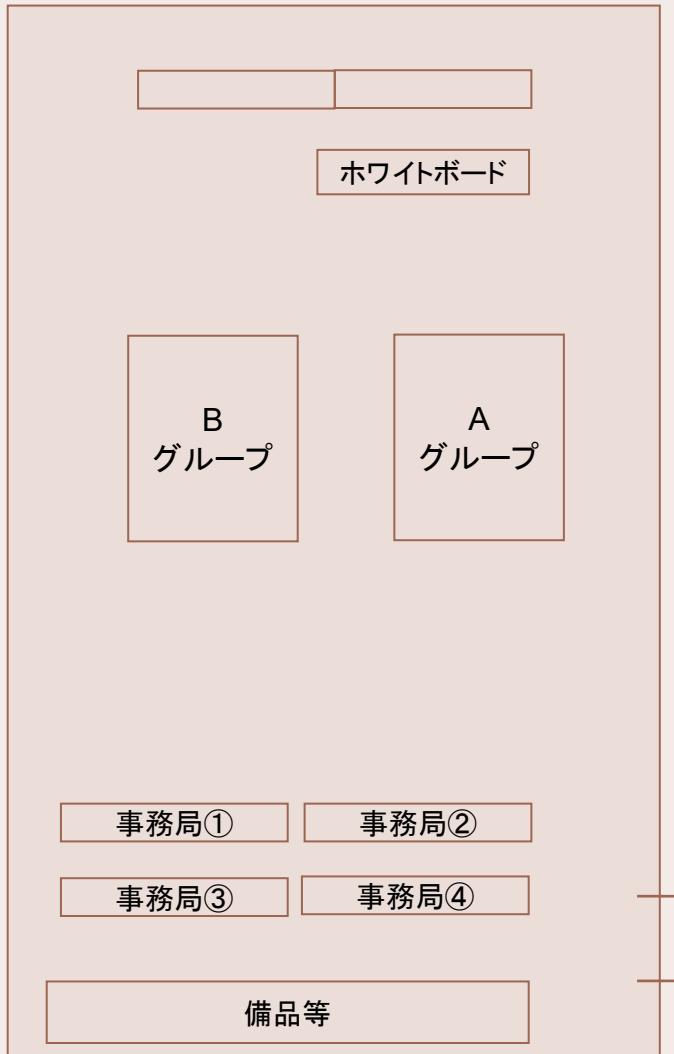
・歴史の源泉を感じられるまち



ワークショップ（第2回）

ワークショップ当日の状況

（1）会場配置図



（2）当日の状況



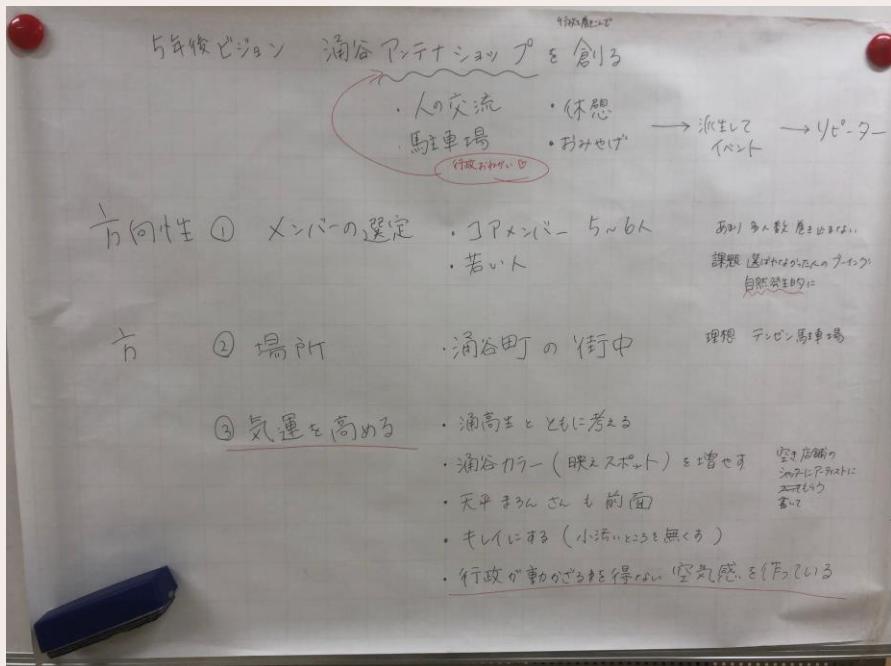
ワークショップ（第2回）

ワークショップにおける作業内容

（3）作業内容

ワークショップでは、第1回ワークショップにおいて、各グループでまとめていただいた「実現したい涌谷町内まち中エリアの未来」と取り組むべき方向性を踏まえ、「現状との差・課題点」「課題解決のためのアイデア」「課題解決のための実施項目・官民の役割分担」について、活発な議論をしていただいた。

【Aグループ】



【Bグループ】

